

アカデミックワーク集

九州大学勤務時代（2019 年 4 月～2023 年 3 月）：

著 書：

1. 佐藤 武：医療からの学び－佐賀新聞「診察室から」20 年間の軌跡－。佐賀新聞社, pp.1-175, 2018.
2. 佐藤 武：こころアレルギー。佐賀新聞社, pp. 1-143、2019.
3. 佐藤 武：がんと死の錯覚～私の十年間・振り返り～。佐賀新聞社, pp.1-111, 2021.
4. 佐藤 武：人間みな人間みな違うはずですが？目からウロコ!! 違いが分かれば理解が進む日本人と中国人。佐賀新聞社, 2022（印刷中）
5. 佐藤 武：人間みな違うはずですが？目からウロコ!! 違いが分かれば理解が進む日本人とコリアン。佐賀新聞社, 2023（編集集中）

論文・報告書・学会報告・書評など：

1. 丸谷俊之, 安宅勝弘, 齋藤憲司, 高山潤也, 佐藤武, 杉田義郎：大学院における休学・退学・留年学生に関する調査－第 15 報－（平成 28 年度集計結果）－. CAMPUS HEALTH 56: 300-302, 2019.
2. 布施泰子, 梶谷康介, 平井伸英, 苗村育郎, 佐藤武：大学における休・学退学・留年学生に関する調査 第 39 報（平成 28 年度分集計結果）。CAMPUS HEALTH 56: 295 2019.
3. 布施泰子, 梶谷康介, 平井伸英, 苗村育郎, 佐藤武：大学における休学・退学・留年学生に関する調査 第 40 報（平成 29 年度調査結果）、第 57 回全国大学保健管理研究集会 2019 年 5 月.
4. 丸谷俊之, 中川克, 柳元伸太郎, 吉川弘明, 富樫整, 鈴木眞理, 原田賢治, 石見拓, 馬場久光, 岩崎泰正, 横山裕一, 佐藤武, 守山敏樹, 西尾彰泰, 山本眞由美: 留学等で渡航する学生への健康管理に関する支援の状況についての全国調査. CAMPUS HEALTH 56: 244-249, 2019.
5. 丸谷俊之, 安宅勝弘, 齋藤憲司, 高山潤也, 佐藤武：大学院における休学・退学・留年学生に関する調査第 16 報（平成 29 年度集計結果）, 第 57 回全国大学保健管理研究集会 2019 年 10 月.
6. 丸谷俊之, 安宅勝弘, 齋藤憲司, 高山潤也, 佐藤武, 杉田義郎：大学院における休学・退学・留年学生に関する調査?平成 28 年度結果を中心に? 大学のメンタルヘルス 3: 72-79, 2019.
7. 布施泰子, 梶谷康介, 平井伸英, 苗村育郎, 佐藤武：大学における休学・退学・留年学生に関する調査－第 39 報（平成 28 年度調査結果）－. 大学のメンタルヘルス 3: 59-71,

2019.

8. 丸谷俊之, 安宅勝弘, 齋藤憲司, 高山潤也, 佐藤武 大学院における休学・退学・留年学生に関する調査—平成 29 年度結果を中心に—第 41 回全国大学メンタルヘルス学会総会 2019 年 12 月.
9. Noriko Yamamoto, Toru Maruyama, Yoshinori Masaki, Jun Nagano, Masahiro Irie, Kosuke Kajitani, Rikako Tsuchimoto, and Takeshi Sato: Contributions of anthropometrics and lifestyle to blood pressure in Japanese university students: Investigation by annual health screening. The Journal of Medical Investigation 67: 174-181, 2020.
10. 面高有作, 佐藤 武, 丸山 徹:ヘルスキーパーについて. International Students (海外からの留学生) への健康管理の手引き 第 1 版、pp.20, 2020.
11. 布施泰子, 梶谷康介, 平井伸英, 苗村育郎, 佐藤 武:大学における休学・退学・留年学生に関する調査 第 41 報 (平成 30 年度 調査結果) 報告書, 2020.
12. 土本利架子, 梶谷康介, 佐藤 武, 平林直樹, 永野 純, 入江正洋, 眞崎義憲, 山本紀子, 丸山 徹:伊都診療所の利点と課題—九州大学伊都キャンパス内に新たに設置された診療所—. 健康科学 43: 25-31, 2021.
13. 梶谷康介, 土本利架子, 佐藤 武:新型コロナウイルス感染症 (COVID-19) パンデミックが大学生のメンタルヘルスに及ぼす影響:文献および臨床経験からの考察. 健康科学 43:1-13, 2021.
14. Yusaku Omodaka, Haruhi Kaku, Takeshi Sato, Toru Maruyama: The Function and Achievement of the Coordination Section at Kyushu University, Japan. INFORMATION 24: 39-46, 2021.
15. 佐藤 武:書評:大学生活、大丈夫?—家族が読む、大学生のメンタルヘルス講座—(梶谷康介 著). 大学のメンタルヘルス 4: 99, 2021.
16. 佐藤 武:新型コロナウイルス感染症と大学メンタルヘルス. 大学のメンタルヘルス 4: 3-4, 2021.
17. 面高有作, 加来春日, 松田優里奈, 佐藤 武, 丸山 徹:新型コロナウイルス感染拡大防止対策下で学生支援を求める来談者のプロフィールはどう変化したのか—WEB 相談受付フォーム導入の試み—. 大学のメンタルヘルス 4: 128-133, 2021.
18. 丸谷俊之, 安宅勝弘, 高山潤也, 齋藤憲司, 佐藤 武:大学院における休学・退学・留年学生に関する調査—平成 29 年度集計結果を中心に—. 大学のメンタルヘルス 4: 60-70, 2021.
19. 布施泰子, 梶谷康介, 平井伸英, 苗村育郎, 佐藤 武:大学における休学・退学・留年学生に関する調査—第 40 報 (平成 29 年度調査結果) —. 大学のメンタルヘルス 4: 47-59, 2021.
20. 面高有作, 加来春日, 松田優里奈, 佐藤 武, 丸山 徹:新型コロナウイルス感染拡大

防止対策下で学生支援を求める来談者のプロフィールはどう変化したのかーWEB 相談受付フォーム導入の試みー. 大学のメンタルヘルス 4: 128-133, 2021.

21. Yusaku Omodaka, Haruhi Kaku, Yurina Matsuda, Takeshi Sato, Kaku Eguchi, Shinji Oda, Toru Maruyama: Development of a Web Consultation Reception Form Under the COVID-19 Pandemic: About one year achievement. INFORMARION 24: 165-174, 2021.
22. Shinji Oda, Satoshi Takamatsu, Hideaki Fukumori, Fumika Funatsu, Tomoko Matsushita, Takeshi Sato: Changes in the Student Counseling System during COVID-19 in a Japanese University. INFORMATION 24:175-184, 2021.
23. 加来春日、面高有作、松田優里奈、佐藤 武、丸山 徹 新入学生のメンタルヘル状況及び発達障害傾向と低単位との関連について. CAMPUS HEALTH 58: 234-239, 2021.
24. Kosuke Kajitani, Rikako Tsuchimoto, Yusaku Omodaka, Tomoko Matsushita, Hideaki Fukumori, Takeshi Sato, Jun Nagano: Neurodevelopmental Disorder Traits in Taijin-kyoufu-sho and Social Anxiety Disorder: A Cross-Sectional Study among University Students. Psychiatry Journal 1-9, 2021.
25. 丸谷 俊之, 安宅 勝弘, 齋藤 憲司, 高山 潤也, 佐藤 武: 大学院における休学・退学・留年学生に関する調査ー平成 29 年度調査結果を中心にー. 大学のメンタルヘルス 4: 60-70, 2022.
26. 布施泰子、梶谷康介、平井伸英、苗村育郎、佐藤 武: 大学における休学・退学・留年学生に関する調査第 42 報 (2019 年度分の集計結果から) . CAMPUS HEALTH 59: 279, 2022.
27. 布施泰子、梶谷康介、平井伸英、苗村育郎、佐藤 武: 大学における休学・退学・留年学生に関する調査ー第 40 報 (平成 29 年度調査結果) ー. 大学のメンタルヘルス (2022, in press)
28. Yusaku Omodaka, Takeshi Sato: Subjective quality of life of college students with difficulties in connecting support: A study of support interventions according to the level of disability. INQUIRY (under review).
29. Yusaka Omodaka, Takeshi Sato, Toru Maruyama: Impact of mental and developmental disorders on disability in Japanese university students: A cross-sectional study. Journal of American College Health 26: 1-6, 2022.
30. Noriko Yamamoto, Takeshi Sato: The Short-term Effect of Aerobics on Depressive Symptoms toward Healthy People. Asian Journal of Medicine and Health 20 :9-13, 2022.
31. Noriko Yamamoto, Takeshi Sato, Yusaku Omodaka, Hisae Matsuo, Suguru Hasuzawa, Masahide Koda, Niwako Yamawaki: The Differences in Attitude

- Toward Mental Health Services between Japanese and American College Students. Asian Social Sciences 18:23-28, 2022.
32. Noriko Yamamoto, Nana Ito, Shin-ichi Inoue, Takeshi Sato: Effects of Short-term and Long-term Aerobic Exercise on Serum Aldosterone in Japanese Workers. INFORMATION 25: 155-172, 2022.
 33. Takeshi Sato, Noriko Yamamoto, Yusaku Omodaka: The Effectiveness of Kampo Medication Treatment from the perspective of the relationship between Emotion and Respiration. INFORMATION 25: 51-65, 2022.
 34. Shinji Oda, Yusaku Omodaka, Takeshi Sato: Depressive state, interpersonal relationships, and parental influence among students in Japanese universities. Japanese Journal of College Mental Health 24: 165-174, 2022.
 35. Takeshi Sato, Noriko Yamamoto, Yusaku Omodaka, Hisae Matsuo: Development of College Mental Health Questionnaire for Psychological Screening at the Entrance of College. INFORMATION 25:85-103, 2022.
 36. Noriko Yamamoto, Takeshi Sato: Illness behavior: pain clinic patients vs. psychiatry clinic patients. Asian Journal of Medicine and Health 20: 120-124, 2022.
 37. 緒方敦子、面高有作、松田優里奈、松尾寿栄、佐藤 武、丸山 徹 コロナ禍の学生支援における利用者動向－Web 相談受付フォーム導入後1年経過時の報告－. CAMPUS HEALTH 59:63-69, 2022.
 38. Tomoko Takegishi, Noriko Yamamoto, Naoki Hirabayashi, Suguru Hasuzawa, Masahide Koda, Zhengguo Huang, Na Li, Hisae Matsuo, Takeshi Sato: Comparison of Illness behavior between Japanese and Chinese patients with somatoform disorders. Asian Journal of Medicine and Health 20: 81-86, 2022.
 39. 竹岸智子、佐藤 武：看護師の経験年数及び職場環境の違いとレジリエンスの関係性. 健康科学（印刷中, 2023）
 40. 丸谷俊之、安宅勝弘、齋藤憲司、高山潤也、佐藤 武：COVID-19 パンデミック下の大学院学生休退学調査(2020 年度)・留学生への影響について. CAMPUS HEALTH（投稿中）

新聞などの掲載：

- 佐藤 武：＝診察室から＝ 治療に大切な信頼関係 日々の臨床でつくり上げる.
佐賀新聞 2019-04-01
- 佐藤 武：＝診察室から＝ 情報氾濫で信頼と感謝を喪失か 現代医療の盲点. 佐賀新聞
2019-05-01
- 佐藤 武：＝診察室から＝ 難しい人間関係 こころアレルギーと命名. 佐賀新聞 2019-06-01

佐藤 武：＝診察室から＝ 好かれる医療者と嫌われる医療者の違い 元気づける褒め言葉が大切. 佐賀新聞 2019-07-01

佐藤 武：＝診察室から＝ 産業医の涙 これからの働き方改革に期待して. 佐賀新聞 2019-08-01

佐藤 武：＝診察室から＝ ストレスホルモン 人間関係の調節で対策を. 佐賀新聞 2019-09-01

佐藤 武：＝診察室から＝ なぜ復職は難しいのか メンタルヘルス不調者の現実. 佐賀新聞 2019-10-01

佐藤 武：＝診察室から＝ 現場の壮絶さに涙した体験 現場を知らない産業医. 佐賀新聞 2019-12-01

佐藤 武：＝診察室から＝九州大の敷地内禁煙 少しずつ普及、地道に継続を. 佐賀新聞 2020-01-01

佐藤 武：＝診察室から＝ 新型コロナウイルス感染症の報道 情報過多が不安につながる恐れも. 佐賀新聞 2020-02-01

佐藤 武：＝診察室から＝ 新型コロナウイルス肺炎の予防 免疫力低下させないように. 佐賀新聞 2020-04-01

佐藤 武：＝診察室から＝ 新型コロナウイルス感染症から学んだこと ① 新しい時代の到来に適応. 佐賀新聞 2020-05-01

佐藤 武：＝診察室から＝新型コロナウイルス感染症から学んだこと ②「3密」を控える文化はつらい. 佐賀新聞 2020-06-01

佐藤 武：＝診察室から＝ 新型コロナウイルス感染症から学んだこと ③ 働き方と学習法の改革. 佐賀新聞 2020-07-01

佐藤 武：＝診察室から＝ 新型コロナウイルス感染症から学んだこと ④ 悲観からは何も生まれない. 2020-08-01

佐藤 武：＝診察室から＝ 新型コロナウイルス感染症から学んだこと ⑤ 感染者は腸内善玉菌が不足？佐賀新聞 2020-09-01

佐藤 武：＝診察室から＝ 新型コロナウイルス感染症から学んだこと ⑥ 備えあれば憂いなし. 佐賀新聞 2020-10-01

佐藤 武：＝診察室から＝ 新型コロナウイルス感染症から学んだこと ⑦ 自然免疫機能を高める工夫とは？佐賀新聞 2020-11-01

佐藤 武：＝診察室から＝ 新型コロナウイルス感染症から学んだこと ⑧ 活性炭素とウイルス感染との関係. 佐賀新聞 2020-12-01

佐藤 武：＝診察室から＝ 新型コロナウイルス感染症から学んだこと ⑨ ワクチンの期待と限界. 佐賀新聞 2021-01-01

佐藤 武：＝診察室から＝ 新型コロナウイルス感染症から学んだこと ⑩ 太陽光浴び、うつ防止を. 佐賀新聞 2021-03-01

- 佐藤 武：＝診察室から＝ 新型コロナウイルス感染症から学んだこと ⑪ 長期の不安
緊張が抑うつに。佐賀新聞 2021-04-01
- 佐藤 武：＝診察室から＝ 新型コロナウイルス感染症から学んだこと ⑫ マスクの効
用と副作用。佐賀新聞 2021-05-01
- 佐藤 武：＝診察室から＝ 新型コロナウイルス感染症から学んだこと ⑬ ファイザー
製ワクチン接種の体験談。佐賀新聞 2021-07-01
- 佐藤 武：＝診察室から＝ 新型コロナウイルス感染症から学んだこと ⑭ 講義のスタ
イルの変化と問題点。佐賀新聞 2021-08-01
- 佐藤 武：＝診察室から＝ 新型コロナウイルス感染症から学んだこと ⑮ パスツール
VS ベンチン。佐賀新聞 2021-09-01
- 佐藤 武：＝診察室から＝ 新型コロナウイルス感染症から学んだこと ⑯ 「アラ探し」
と「タカラ探し」。佐賀新聞 2021-10-01
- 佐藤 武：＝診察室から＝ 新型コロナウイルス感染症から学んだこと ⑰ 「受診控え」
問題 安心して来院を。佐賀新聞 2021-11-01
- 佐藤 武：＝診察室から＝ 新型コロナウイルス感染症から学んだこと ⑱ 健康維持へ
定期的な健診を。佐賀新聞 2021-12-01
- 佐藤 武：＝診察室から＝ 新型コロナウイルス感染症から学んだこと ⑲ 3 回目のワ
クチンを受けるか受けないか。佐賀新聞 2022-01-01
- 佐藤 武：＝診察室から＝ 新型コロナウイルス感染症から学んだこと ⑳ つらかった
3 回目ワクチン接種。佐賀新聞 2022-02-01
- 佐藤 武：＝診察室から＝ 新型コロナウイルス感染症から学んだこと ㉑ コロナ禍で
生じる人間関係の問題点。佐賀新聞 2022-03-01
- 佐藤 武：＝診察室から＝ 新型コロナウイルス感染症から学んだこと ㉒ コロナ VS
戦争。佐賀新聞 2022-04-01
- 佐藤 武：＝診察室から＝新型コロナウイルス感染症から学んだこと㉓ 「収束」と「終息」
どうなるとコロナは終わりますか？佐賀新聞 2022-05-01
- 佐藤 武：＝診察室から＝新型コロナウイルス感染症から学んだこと㉔ 「子どもへの影響」
と「コロナ後遺症」。佐賀新聞 2022-06-01
- 佐藤 武：＝診察室から＝新型コロナウイルス感染症から学んだこと㉕ 4 回目のワクチン
を受けた方がよいですかー現代の医師・患者関係ー。佐賀新聞 2022-07-01
- 佐藤 武：＝診察室から＝新型コロナウイルス感染症から学んだこと㉖ 新型コロナ感染
症に罹患した学生の体験談ー発熱と頑固な咳ー。佐賀新聞 2022-08-01
- 佐藤 武：＝診察室から＝新型コロナウイルス感染症から学んだこと㉗ マスクとワクチ
ンで予防できるのかー基本的な生活習慣を大切にー。佐賀新聞 2022-09-01
- 佐藤 武：＝診察室から＝新型コロナウイルス感染症から学んだこと㉘ 新型コロナはイ
ンフルエンザ並みになるのか？佐賀新聞 2022-10-01

佐藤 武：＝診察室から＝新型コロナウイルス感染症から学んだこと②⑨ 若者たちのコミュニケーションが失われると？佐賀新聞 2022-12-01

佐藤 武：＝診察室から＝新型コロナウイルス感染症から学んだこと③⑩ 人類の進化はウイルスとの共存・共生にあり 佐賀新聞 2023-1-14

佐賀医科大学および佐賀大学勤務時代(1984 年 4 月～2019 年 3 月)：

[original article]

1. Nakamura S, Sonezaki S, Hayashida Y, Sato T: The effect of pottery therapy on heart variability in college students with mental health problems. *Journal of Mental Disorders and Treatment* 3(2):1-5, 2017 (DOI. 10.4172/2471-271X.1000151 (peer review [+])
2. Nagamatsu M, Hamada Y, Sato T: Adolescent health and development, public health response and the program in Japan. *International handbook on adolescent health and development*. Springer Publishing Company: New York, pp.45-67, 2016. (peer review [+])
3. Yasuko Fuse-Nagase, Jun Miura, Ikuro Namura, Takeshi Sato, Katsuhiko Yasumi, Toshiyuki, Marutani, Yoshiro: Decline in the severity or the incidence of schizophrenia in Japan: A survey of university students. *Asian J Psychiatry* 24: 120-123, 2016. (peer review [+])
4. Hamada Y, Nagamatsu M, Sato T: Factors influencing maternal acceptance of human papillomavirus vaccination for their school-aged daughters in Fukuoka Prefecture, Japan. *Br J Med Med Res* 7(5): 341-354, 2015. (peer review [+])
5. Hayashida Y, Yoo J, Kiyota M, Sato T, Gigurua N, Kitagawa K, Oh YY: Digital Convergence Technologies for Active Living in Disaster Mitigation. Preliminary study. 1st International Symposium on ICT-based Disaster Prevention Design ICTDPD2015, January 23-25, pp.41-42, 2015. (peer review [+])
6. Yamawaki N, Riley C, Sato T, Omon M: Beliefs about causes of and risk factors for mental disorders: A comparison of Japanese and American college students. *Asian Social Science* 11(15): 197-203, 2015. (peer review [+])
7. Nagamatsu M, Yano K, Sato T: Adolescent health, public health responses, and sex education program in Japan. *International Handbook of Adolescent Pregnancy: Medical, Psychosocial, and Public Health*, Springer Publishing Company: New York, 2014, pp.412-439. (peer review [+])

8. Nagamatsu M, Sato T, Nakagawa A, Saito H. Factors Influencing Attitudes to Sexual Activity among Early Adolescents in Japan. *Journal of Early Adolescent* 2013; 33(2), 267-288. (peer review [+])
9. Yang C, Yamawaki N, Miyata M, Sato T. Prevalence and risk factors of Internet addiction: A cross-National comparison between Japanese and Chinese freshmen. *Transcultural Psychiatry* 2013; 50(2):263-279. (peer review [+])
10. Chai J, Yang C, Miyata M, Sato T. Prevalence and risk factors of Internet addiction: A cross-National comparison between Japanese and Chinese freshmen. 2012 Annual Report of the Japanese Association for College Mental Health. 2013, p.28-38. (oral presentation [+], peer review [-])
11. Nagamatsu M, Sato T, Nakagawa A, Saito H. Family, school, and social factors associated with sexual experience and attitudes toward sexual intercourse among Japanese adolescents aged 14 to 15 years. *Adolescentology* 2012; 30 (3): 297-304. (peer review [+])
12. Iwamoto R, Yamawaki N, Sato T. Increased self-transcendence in patients with intractable diseases. *Psychiatry Clin Neurosci.* 2011; 65:638-47. (peer review [+])
13. Nagamatsu M, Sato T, Nakagawa A, Saito H. HIV prevention through extended education encompassing students, parents, and teachers in Japan. *Environ Health Prev Med* 2011; 16(6):350-62. (peer review [+])
14. Guo W, Kawano H, Piao L, Itoh N, Node K, Sato T. Effects of aerobic exercise on lipid profiles and high molecular weight adiponectin in Japanese Workers. *Intern Med* 2011; 50:389-95. (peer review [+])
15. Yamawaki N, Sato T, Swindler S. Strategies for changing attitudes toward mental health services – A cross-cultural study –. 2009 Annual Report of the Japanese Association for College Mental Health. 2010. p.26-31. (oral presentation [+], peer review [-])
16. Yang C, Miyata M, Sato T. Why are college students apt to become Internet Addiction? A cross-national study in Japan and China. 2009 Annual Report of the Japanese Association for College Mental Health. 2010. p.73-80. (oral presentation [+], peer review [-])
17. Yan C, Sato T. Comparative study of internet addiction among Japanese and Chinese college students. 2008 Annual Report of the Japanese Association for College Mental Health. 2009. p.102-109. (oral presentation [+], peer review [-])
18. Nagata H, Tanaka E, Takefu M, Sato T, Nakano M, Morimoto M, Fukushima A, Akaike N. Effects of Lower Limb and Dorsolumbar Massages on Edema in

- Postpartum Women. International Journal of Biomedical Soft Computing and Human Sciences 2009; 14(1): 109-115. (peer review [+])
19. Guo W, Piao LH, Itou N, Sato T. Preventive effects of metabolic syndrome by aerobics exercise. Proceedings of the 5th International Conference of Information. 2009. p.423-426. (oral presentation [+], peer review [-])
 20. Yamada K, Waza K, Maeno T, Sato T. Under-diagnosis of alcohol-related problems and depression in a family practice in Japan. Asia Pacific Family Medicine 2008; 7(1). 3-8. (peer review [+])
 21. Nagamatsu M, Saito H, Sato T. Factors associated with gender differences in parent-adolescent relationships that delay first intercourse in Japan. J Sch Health 2008; 78: 601-606. (peer review [+])
 22. Sato T, Kodama S. Development of College Mental Health Questionnaire for psychological screening at the entrance of college. 2007 Annual Report of the Japanese Association for College Mental Health. 2008. p.36-45. (oral presentation [+], peer review [-])
 23. Sato T, Yasumi K, Kageyama J. Depression, interpersonal relationships, and parental influence among college students in Japan. 2007 Annual Report of the Japanese Association for College Mental Health. 2008. p.77-85. (oral presentation [+], peer review [-])
 24. Maeno T, Inoue K, Yamada K, Maeno T, Sato T. Indicators of a major depressive episode in primary care patients with a chief complaint of headache. Headache. 2007; 47(9):1303-10. (peer review [+])
 25. Sato T, Nakashima Y, Hosaka T, Fukui K, Numata Y, Takahashi T, Sato S, Kuroki N, Kobayashi T, Horikawa N, Kocha D, Minami M, Kawazoe Y, Wada K, Yagi M, Aoki T, Kurosawa H. An internet-based evaluation system of a psychiatry residency program in Japan. A preliminary report of year 2005. Jpn J Gen Hosp Psychiatry 2006; 18. 242-249. (peer review [+])
 26. Sato T, Nakashima K, Kidoh K, Yamada S. Mental Health among Students in Information-oriented Society. Prevalence and psychological status in Internet addiction. Jpn J Gen Hosp Psychiatry 2006; 18:131-138. (peer review [+])
 27. Sato T, Kidoh K, Sato H, Takefu M. Relationship between emotion and respiration using fractal dimension analysis and psychosomatic testing. The perspectives from contemporary and traditional Chinese medicine. Information 2006; 9:789-799. (peer review [+])

28. Jiang N, Sato T, Sato H, Kidoh K, Yamada S. Is the personality trait related to the immune function?----The correlation between the NK cell and the subscales of the TCI. *Information* 2006; 8:605-609. (peer review [+])
29. Yamada K, Maeno T, Ono M, Sato T, Otsubo T, Isse K. Depression in a family practice in Japan. Doctor shopping and patient complaints. *Primary Care & Community Psychiatry* 2005; 10: 7-11. (peer review [+])
30. Sato T, Takefu M. Relationship between emotion and respiration using fractal dimension and psychometric testing. The perspective from contemporary and traditional Chinese medicine. *Proceedings of the 3rd International Conference of Information*. 2004. p.448-451. (oral presentation [+], peer review [-])
31. Aoki T, Sato T, Hosaka T. Role of Consultation-Liaison Psychiatry toward Shortening of Length of Stay for Medically Ill Patients with Depression. *Int J Psychiatr Clin Pract* 2004; 8(2):71-76. (peer review [+])
32. Sato T. A riddle on the tongue color – What is the color of Chi? *Asian Information-Science-Life. An International Journal* 2003; 1:285-289. (peer review [+])
33. Jiang N, Sato T, Hara H, Takedomi Y, Ozaki I, Yamada S. Correlations between trait anxiety, personality and fatigue. Study based on the Temperament and Character Inventory. *J Psychosom Res* 2003; 55(6):493-500. (peer review [+])
34. Aoki T, Sato T, Hosaka T. Length of stay for medically ill patients with depression. *Psychiat Neurol Jap* 2003; 105:346-350. (peer review [+])
35. Maeno T, Kizawa Y, Ueno Y, Nakata Y, Sato T. Depression among primary care patients with complaints of headache and general fatigue. *Primary Care Psychiatry* 2002; 8:69-72. (peer review [+])
36. Sato T, Takefu M, Hara T, Jiang N, Yamada S. Spectrum analysis of eye movements with closed eyes in psychiatric patients. *Information* 2002; 5:267-282. (peer review [+])
37. Takeichi M, Sato T. Studies on the psychosomatic functioning of ill-health according to Eastern and Western medicine 7. Psychoimmuno-endocrinological changes induced by Kampo medication and relaxation training. *Am J Chin Med* 2001; 29(3):411-422. (peer review [+])
38. Sato T, Hara T, Jiang N, Takefu M, Yamada S. Fractal dimension analysis of eye movements with closed eyes in psychiatric patients. *Information* 2001; 4:387-391. (peer review [+])
39. Sato T, Jiang N, Hara T, Takefu M, Yamada S. A symmetry of distribution of eye movements with eye closed in chronic schizophrenia. *Information* 2001; 4:242-248. (peer review [+])

40. Takeichi M, Sato T, Takefu M. Studies on the psychosomatic functioning of ill-health according to Eastern and Western medicine 6. Psychosomatic characteristics of anxiety and depression. *Am J Chin Med* 2001; 29(2):247-64. (peer review [+])
41. Takeichi M, Sato T, Takefu M, Shigematsu M, Shimohira H, Katsuki T. Studies on the psychosomatic functioning of ill-health according to Eastern and Western medicine 5. Psychosomatic characteristics of anxiety and anxiety-affinitive constitution. *Am J Chin Med* 2001;29(1):53-67. (peer review [+])
42. Guo Y, Kuroki T, Yamashiro S, Sato T, Hara T, Takeichi M, Koizumi S. Characteristics of illness behavior of outpatients with mental disorder. A preliminary study in Japan. *J Morita Therapy* 2000; 11:167-171. (peer review [+])
43. Sato T, Jiang N, Takedomi Y, Yamada K, Hara T, Ozaki I. The psychological stress and burnout of medical students in clinical clerkship, *Jpn J Gen Hosp Psychiatry* 2000; 12: 126-134. (peer review [+])
44. Guo Y, Kuroki T, Yamashiro S, Sato T, Takeichi M, Koizumi S. Abnormal illness behavior and psychiatric disorders. A study in an outpatient clinic in Japan. *Psychiatry and Clinical Neurosciences* 2000; 54:447-453. (peer review [+])
45. Sato T, Yamamoto Y, Yamada K, Jiang N, Hara T. Aposematic depressive states- Five cases with depressive states preceding malignant tumors. *Jpn J Gen Hosp Psychiatry* 2000; 12: 152-159. (peer review [+])
46. Sato T, Guo Y, Takeichi M, Koizumi S. Effects of cooperative physician/psychiatrist-oriented treatment on patients with somatoform disorders. *Jpn J Gen Hosp Psychiatry* 2000; 12:14-19. (peer review [+])
47. Takeichi M, Sato T. Studies on the psychosomatic functioning of ill-health according to Eastern and Western medicine. 4. The verification of possible links between ill-health and lifestyle illness and stress-related disease. *Am J Chin Med* 2000; 28:9-24. (peer review [+])
48. Takeichi M, Sato T. Studies on the psychosomatic functioning of ill-health according to Eastern and Western medicine. 3. Verification of significance of two treatment methods using kampo medication for stress-related disease and lifestyle disease. *Am J Chin Med* 1999;27:315-329. (peer review [+])
49. Takeichi M, Sato T, Takefu M. Studies on the psychosomatic functioning of ill-health according to Eastern and Western medicine. 2. Anxiety-affinitive constitution associated with qi, blood, and body fluid and its diagnostic and therapeutic method. *Am J Chin Med* 1999; 27:177-190. (peer review [+])

50. Takeichi M, Sato T. Studies on the psychosomatic functioning of ill-health according to Eastern and Western medicine. 1. Visual observation of the sublingual vein for early detection of vital energy stagnation and blood stasis. *Am J Chin Med* 1999; 27:43-51. (peer review [+])
51. Sato T, Takeichi M, Hara T, Koizumi S. Second opinion behaviour among Japanese primary care patients. *Br J General Practice* 1999; 49:546-550. (peer review [+])
52. Hosaka T, Sato T, Yamamoto K. Therapeutic models for somatoform disorders in liaison psychiatry. *Int J Psychiatr Clin Pract* 1998;2: 189-193. (peer review [+])
53. Takeichi T, Sato T, Takefu M. Medical psychology in general hospital - The application of oriental psychosomatic medicine in consultation - liaison psychiatry- psychosomatic characteristics of anxiety and depression. In Matsushita I, Fukunishi I, editors, *Cutting Edge Medicine and Liaison Psychiatry*, New York: Elsevier, 1999, p.171-178. (peer review [+])
54. Hosaka T, Sato T, Yamamoto K. Part 3 Management and Economic Aspects of Somatoform Disorders. Approaches to the Treatment of Somatoform Disorders in Liaison Psychiatry. In Ono Y, Janca A, Asai M, Sartorius N, editors. *Somatoform Disorders. A Worldwide Perspective*. New York: Springer, 1999, p. 232-239. (peer review [+])
55. Takeichi M, Sato T. Computerized color analysis of "xue yu"(blood stasis) in the sublingual vein using a new technology. *Am J Chin Med* 1997; 25:213-219. (peer review [+])
56. Sato T, Takeichi M, Hara T, Takasaki M, Totoki T. Fractal dimension analysis of two-dimensional eye movements with closed eyes in schizophrenics. *Neurosciences* 1995; 21:199-205. (peer review [+])
57. Sato T, Takeichi M, Shirahama M, Fukui T, Gude JK. Doctor-shopping and users of alternative medicine among Japanese primary care patients. *Gen Hosp Psychiatry* 1995; 17:115-125. (peer review [+])
58. Sato T, Takeichi M, Hara T. Suicide attempts by agricultural chemicals. *Indian J Psychiatry* 1993; 35:209-210. (peer review [+])
59. Hara T, Sato T, Takeichi M. Psychiatric liaison referral of elderly inpatient in a medical school hospital. *Jpn J Psychiatr Neurol* 1993; 47:569-573. (peer review [+])
60. Hara T, Sato T, Takeichi M. Iodine-induced delirium. *Human Psychopharmacology* 1993; 18:59-60. (peer review [+])

61. Sato T, Takeichi M. Lifetime prevalence of specific psychiatric disorders in a general medicine clinic. *Gen Hosp Psychiatry* 1993; 15:224-233. (peer review [+])
(Ph.D. paper)
62. Takeichi M, Sato T. Quantitative electron microscopic morphometric investigation on change of mitochondria in long-term CPZ administration rat brain, liver and heart. *Jpn J Psychiatr Neurol* 1987; 41:749-753. (peer review [+])
63. Sato T, Takeichi M. A case of chronic subdural hematoma with anxiety states and concomitant regression-like symptoms. *Jpn J Psychiatr Neurol* 1987; 41:663-667. (peer review [+])
64. Maeda H, Sato T, Maki S. Effects of dopamine agonists on hypothalamic defensive attack in cats. *Physiology & Behavior* 1985; 35:89-92. (peer review [+])

[case report]

65. Sato T, Takeichi M, Takami T. Thrombocytopenia associated with levomepromazine. A case report. *Human Psychopharmacology* 1994; 9:299-301. (peer review [+])
66. Sato T, Takeichi M, Abe M, Tabuchi K, Hara T. Frontal lobe tumor associated with late-onset seizure. A case report. *Jpn J Psychiatr Neurol* 1993; 47:541-544. (peer review [+])
67. Sato T, Hara T, Takeichi M. A case of neuroleptic malignant syndrome with a history of general anesthesia. *Human Psychopharmacology* 1993; 7:351-353 (peer review [+]).
68. Sato T, Takeichi M. Drug-induced pneumonitis associated with haloperidol. *Gen Hosp Psychiatry* 1990; 12:341-343. (peer review [+])

[Review & comment]

69. Sato T. Internet addiction. Prevalence and current problems in Japan. *Japan Medical Association Journal* 2006; 149:279-283.
70. Jiang N, Sato T, Takeichi M. The current diagnosis situation of neurosis in China: Comparison with ICD-10 and DSM-IV. *International Medical Journal* 1999; 6: 201-203.
71. Sakai M, Sato T, Takeichi M, Fukunishi I. Comment on autogenic training and hypertension. *Perceptual and Motor Skill* 1997; 84: 1234.

(英語以外の外国語)

72. 佐藤 武. 我得了抑郁症吗? 抑郁症的 1 0 0 种征兆. 上海: 華東師範大学出版社, 2008, p. 1-219. (in Chinese)
73. 佐藤 武. 我得了憂鬱症嗎. 台北: 麥田出版, 2006, p.1-234. (in Taiwanese)
74. 사토다케시: 오을한당신이유쾌해지는 100 가지방법. 넥서스 BOOK: 서울, 2005, p. 1-227. (in Korean)

(日本語)

〔原著論文〕

1. 丸谷俊之, 安宅勝弘, 齋藤憲司, 高山潤也, 佐藤武, 杉田義郎: 大学院における休学・退学・留年学生に関する調査－第 14 報 (平成 27 年度集計結果)－. CAMPUS HEALTH (in press). (査読・有)
2. 布施泰子, 梶谷康介, 平井伸英, 苗村育郎, 佐藤武: 大学における休学・退学・留年学生に関する調査 第 3 8 報 (平成 2 7 年度分集計結果) より. 「死亡学生実態調査についての結果と考察」 CAMPUS HEALTH 55(2):180-184, 2008 (査読・有)
3. 丸谷 俊之, 安宅 勝弘, 齋藤 憲司, 高山 潤也, 佐藤 武, 杉田 義郎, 苗村育郎: 大学院における休学・退学・留年学生に. (査読・有) に関する調査－平成 27 年度調査結果を中心に－. 大学のメンタルヘルス (in press)
4. 布施泰子, 三浦淳, 平井伸英, 苗村育郎, 佐藤武: 大学における休・退学、留年学生に関する調査第 3 7 報 (平成 26 年度調査結果). 大学のメンタルヘルス 1 (1):28-36, 2017.. (査読・有)
5. 丸谷 俊之, 安宅 勝弘, 齋藤 憲司, 高山 潤也, 佐藤 武, 杉田 義郎, 苗村育郎: 大学院における休学・退学・留年学生に関する調査－平成 26 年度調査結果を中心に－. 大学のメンタルヘルス 1(1): 37-44, 2017
6. 中村志織, 横山光代, 佐藤 武: 陶芸療法が自律神経機能へ及ぼす影響について. 大学のメンタルヘルス 1(1): 63-66, 2017.. (査読・有)
7. 佐藤 武, 木道圭子: 日本人大学生の留学中におけるメンタルヘルスについて - 佐賀大学における現状と対策 - . CAMPUS HEALTH 54(2): 64-69, 2017.. (査読・有)
8. 布施泰子, 三浦淳, 平井伸英, 苗村育郎, 佐藤武: 大学における休・退学、留年学生に関する調査第 3 6 報 (平成 25 年度分の集計結果から). 第 3 7 回全国大学メンタルヘルス研究会報告書, pp.7-16, 2016. (査読・無)
9. 丸谷 俊之, 安宅 勝弘, 齋藤 憲司, 高山 潤也, 佐藤 武, 杉田 義郎, 苗村育郎: 大学院における休学・退学・留年学生に関する調査－平成 2 5 年度調査結果を

- 中心に－. 第37回全国大学メンタルヘルス研究会報告書, pp.17-25, 2016. (査読・無)
10. 渡辺慶一郎、苗村育郎、布施泰子、金子稔、大島紀人、島田隆史、川瀬英理、佐々木司、杉田義郎、佐藤 武、守山敏樹、大島亜希子：大学生を対象にした発達障害に関する質問紙調査の解析. 第37回全国大学メンタルヘルス研究会報告書, pp.76-85, 2016. (査読・無)
 11. 中村志織、佐藤 武：佐賀大学保健管理センターにおける陶芸療法によるメンタル支援. 第37回全国大学メンタルヘルス研究会報告書, pp.86-92, 2016. (査読・無)
 12. 布施泰子、三浦淳、平井伸英、苗村育郎、佐藤武：大学における休・退学、留年学生に関する調査第36報（平成25年度分の集計結果から）. CAMPUS HEALTH 53:157-162, 2016. (査読・有)
 13. 丸谷 俊之、安宅 勝弘、齋藤 憲司、高山 潤也、佐藤 武、杉田 義郎、苗村育郎：全国国立大学大学院学生の休学・退学・留年・死亡の状況について・平成25年度調査から. CAMPUS HEALTH 53:163-168, 2016. (査読・有)
 14. 佐藤 武、木道圭子、中島俊思：発達障害等の悩みを持つ学生の支援体制－佐賀大学におけるキャンパス・ソーシャルワーカーについて－. CAMPUS HEALTH 52 (2): 52-57, 2015. (査読・有)
 15. 丸谷 俊之、安宅 勝弘、齋藤 憲司、高山 潤也、佐藤 武、杉田 義郎、苗村育郎：全国国立大学大学院学生の死亡の状況について：平成24年度調査から. CAMPUS HEALTH 52 (2): 181-186, 2015. (査読・有)
 16. 布施泰子、三浦淳、苗村育郎、佐藤武：大学における休・退学、留年学生に関する調査結果と考察—平成24(2012)年度分の調査について—. CAMPUS HEALTH 52 (2): 169-174, 2015. (査読・有)
 17. 丸谷 俊之、安宅 勝弘、齋藤 憲司、高山 潤也、佐藤 武、杉田 義郎、苗村育郎：全国国立大学大学院学生の休学・退学・留年の状況について・平成24年度調査から. CAMPUS HEALTH 52 (2): 175-180, 2015. (査読・有)
 18. 三浦淳、布施泰子、苗村育郎、佐藤武：大学における休・退学、留年学生に関する調査第35報（平成24年度集計結果）. 第36回全国大学メンタルヘルス研究会報告書, 2014, pp.26-31. (査読・無)
 19. 丸谷 俊之、安宅 勝弘、齋藤 憲司、高山 潤也、佐藤 武、杉田 義郎、苗村育郎：大学院における休学・退学・留年学生に関する調査—平成24年度集計結果を中心に－. 第36回全国大学メンタルヘルス研究会報告書, 2014, pp.16-25.
 20. 佐藤 武、清田 勝、林田行雄：悩みを抱える学生の行動軌跡－（1）方法論の検討－. 第36回全国大学メンタルヘルス研究会報告書. 2014, pp.70-72.
 21. 佐藤 武、林田行雄：韓国・台湾・ニュージーランドにおける保健管理センターの現状視察. 第36回全国大学メンタルヘルス研究会報告書, 2014, pp.32-34. (査読・

無)

22. 安宅勝弘, 影山任佐, 齋藤憲司, 佐藤 武, 粥川裕平. 大学院における休学・退学・留年学生に関する調査—平成 23 年度調査結果を中心に, 第 34 回全国大学メンタルヘルス研究会報告書. 2013. pp.20-27. (査読・無)
23. 岩本利恵, 佐藤 武. 難病を抱える患者における自己超越性の強化. 精神神経学雑誌 2013; 115(6):561-569. . (査読・有)
24. 山本眞由美, 吉川弘明, 中川 克, 林 多喜王, 佐藤 武, 河邊博史, 守山敏樹, 西尾彰泰, 鈴木眞理, 馬場久光, 鎌野 寛, 大塚盛男, 富樫 整, 立見政信: 全国大学保健管理協会 (JUHA) と米国大学保健管理協会 (ACHA) の交流経過報告. CAMPUS HEALTH 51(1):584-586, 2014. . (査読・有)
25. 佐藤 武. 特集<大学における健康教育>大学生のストレスとその心理相談. CAMPUS HEALTH 51(2):1-6, 2014. . (査読・有)
26. 古川尚子, 尾崎岩太, 多胡雅毅, 武富弥栄子, 古川早苗, 安田 郁, 木道圭子, 佐藤 武, 江口有一郎, 山下秀一: 話しやすい職場は職員の疲労を軽減する. CAMPUS HEALTH 51(2): 211-216, 2014. . (査読・有)
27. 花田陽子, 島ノ江千里, 山本あゆみ, 南嶋里佳, 佐藤 武, 新地浩一. 佐賀大学にけるキャンパス・ソーシャルワーカー制度のあり方〜制度導入から現在までの2年間の実績と評価. 第 35 回全国大学メンタルヘルス研究会報告書. pp.77-82, 2014. (査読・無)
28. 丸谷俊之, 安宅勝弘, 齋藤憲司, 佐藤 武, 冨田悟江, 杉田義郎, 苗村育郎. 大学院における休学・退学・留年学生に関する調査—平成 23 年度調査結果を中心に, 第 35 回全国大学メンタルヘルス研究会報告書. pp.11-20, 2014. (査読・無)
29. 柴 佳宝, 佐藤 武. うつ病の理解と対応の考え方—日本と中国における大学生の比較研究—. 第 35 回全国大学メンタルヘルス研究会報告書. p.21-26, 2014. (査読・無)
30. 佐藤 武: 九州地方部会の現状と将来. CAMPUS HEALTH 創立 50 周年記念特集号, p116-117, 2014.
31. 丸谷俊之, 安宅勝弘, 齋藤憲司, 佐藤 武, 杉田義郎, 苗村育郎. 大学院における休学・退学・留年学生に関する調査—第 10 報 (平成 23 年度集計結果) —. CAMPUS HEALTH 51 (1):555-557, 2014. . (査読・有)
32. 三浦淳, 布施泰子, 苗村育郎, 佐藤武: 大学における休・退学、留年学生に関する調査第 35 報 (平成 24 年度集計結果). 第 36 回全国大学メンタルヘルス研究会報告書 2014, pp.26-31. (査読・無)
33. 丸谷 俊之、安宅 勝弘、齋藤 憲司、高山 潤也、佐藤 武、杉田 義郎、苗村 育郎: 大学院における休学・退学・留年学生に関する調査—平成 24 年度集計結果を中心に—. 第 36 回全国大学メンタルヘルス研究会報告書 2014, pp.16-25
34. 佐藤 武、清田 勝、林田行雄: 悩みを抱える学生の行動軌跡—(1) 方法論の検

- 討一. 第36回全国大学メンタルヘルス研究会報告書、2014, pp.70-72. (査読・無)
- 佐藤 武、林田行雄：韓国・台湾における保健管理センターの現状視察. 第36回全国大学メンタルヘルス研究会報告書 2014, pp.32-34. (査読・無)
35. 佐藤 武. 特集＜大学における健康教育＞大学生のストレスとその心理相談. CAMPUS HEALTH 2014; 51(2):1-6. (査読・有)
36. 花田陽子, 島ノ江千里, 山本あゆみ, 南嶋里佳, 佐藤 武, 新地浩一. 佐賀大学におけるキャンパス・ソーシャルワーカー制度のあり方～制度導入から現在までの2年間の実績と評価. 第35回全国大学メンタルヘルス研究会報告書. 2014. p.77-82. (学会発表・有、査読・無)
37. 丸谷俊之, 安宅勝弘, 齋藤憲司, 佐藤 武, 富田悟江, 杉田義郎, 苗村育郎. 大学院における休学・退学・留年学生に関する調査—平成23年度調査結果を中心に. 第34回全国大学メンタルヘルス研究会報告書. 2014. p.11-20. (学会発表・有、査読・無)
38. 柴佳宝, 佐藤 武. うつ病の理解と対応の考え方—日本と中国における大学生の比較研究—. 第35回全国大学メンタルヘルス研究会報告書. 2014. p.21-26. (学会発表・有、査読・無)
39. 安宅勝弘, 影山任佐, 齋藤憲司, 佐藤 武, 粥川裕平. 大学院における休学・退学・留年学生に関する調査—平成23年度調査結果を中心に. 第34回全国大学メンタルヘルス研究会報告書. 2013. p.20-27. (学会発表・有、査読・無)
40. 岩本利恵, 佐藤 武. 難病を抱える患者における自己超越性の強化. 精神神経学雑誌 2013; 115(6):561-569. (査読・有)
41. 花田陽子, 岩本利恵, 島ノ江千里, 佐藤 武, 新地浩一. 佐賀大学におけるキャンパス・ソーシャルワーカー制度～制度導入から現在までの実績と評価～. 第33回全国大学メンタルヘルス研究会報告書. 2012. p.30-33. (学会発表・有、査読・無)
42. 永松美雪, 佐藤 武, 中川亜樹, 斉藤久子. 性行動に伴う危険を予防するプログラムの効果. 性感染症予防教育に男女がお互いを尊重する関係を育成する教育を組み合わせ. 思春期学 2012; 30:365-376. (査読・有)
43. 佐藤 武. 自殺予防のための具体的な対策. 第13回フィジカルヘルス・フォーラム報告書. 2012. p.94-98. (学会発表・有、査読・無)
44. 佐藤 武：なぜ日本人大学生は自信がないのか—諸外国との比較—. こころの健康 2012; 27:2-7. (査読・有)
45. 安宅勝弘, 影山任佐, 齋藤憲司, 佐藤 武, 粥川裕平. 大学院における休学・退学・留年学生に関する調査—平成20年度調査結果を中心に—. 第32回全国大学メンタルヘルス研究会報告書. 2011. p.95-101. (学会発表・有、査読・無)
46. 楊 春燕, 佐藤 武. 大学生における Mobile Phone Addiction に関する研究—日本と中国の比較—. 第32回全国大学メンタルヘルス研究会報告書. 2011. p.38-42. (学会発表・有、査読・無)

47. 佐藤 武. ウォーキングが有効であったうつ病の1例. 第32回全国大学メンタルヘルス研究会報告書. 2011. p.18-20. (学会発表・有、査読・無)
48. 安宅勝弘, 影山任佐, 粥川勝弘, 佐藤 武, 杉田義郎. 実証的データに基づくキャンパス・ストレス性障害・過労の防止運動 (SRO運動) と大学院生休退学・死亡実態全国調査. 日本社会精神医学会雑誌 2011; 20(4):355-362. (査読・有)
49. 山津幸司, 佐藤 武. 印刷教材を用いた介入評価と携帯電話フィードバックシステムの開発. 厚生労働科学研究費補助金:循環器疾患・糖尿病等生活習慣病対策総合研究事業「印刷教材と携帯電話フィードバックシステムを用いた食生活の改善及び運動指導プログラムの開発に関する研究」. 2011. p. 5-12. (査読・無)
50. 粥川裕平, 安宅勝弘, 佐藤 武, 杉田義郎, 影山任佐. 「健康白書2005」に見る日本の大学生の精神的不具合と, 就職氷河期におけるメンタルヘルス支援の課題. 日本社会精神医学会雑誌 2011; 20(4):363-371. (査読・有)
51. 佐藤 武: 大学生のメンタルヘルス. 諸外国との比較からみた日本の問題. 日本社会精神医学会雑誌 2011; 20(4):387-392. (査読・有)
52. 兒玉 幸子, 佐藤 武, 新地 浩一. 大学新入生のメンタルヘルスとその関連要因. CAMPUS HEALTH 2010; 47(29):187-192. (査読・有)
53. 福島雅子, 木道圭子, 永渕久子, 佐藤 武. 急性精神病を発病し緊急入院させた留学生について. 第30回全国大学メンタルヘルス研究会報告書. 2009. p.31-34. (学会発表・有、査読・無)
54. 佐藤 武, 木道圭子, 福島雅子, 永渕久子. 佐賀大学保健管理センター (本庄キャンパス) ビフォー&アフター. 第39回九州地区大学保健管理研究協議会報告書. 2009. p.120-123. (学会発表・有、査読・無)
55. 木村靖夫, 大木和子, 中川直樹, 江崎利昭, 佐藤 武. 自体重レジスタンストレーニングが中高齢女性の身体組成, 骨状態およびメンタルヘルスに及ぼす影響. 佐賀大学文化教育学部研究論文集 2009; 13:227-235. (査読・無)
56. 安宅 勝弘, 影山 任佐, 齋藤 憲司, 佐藤 武, 粥川 裕平. 大学院における休学・退学・留年学生に関する調査ー平成18年度調査結果および平成14~18年度5年間のデータからー. 第30回全国大学メンタルヘルス研究会報告書. 2009. p.86-94. (学会発表・有、査読・無)
57. 佐藤 武. 保健管理を体系化・可視化する. 業務指針の提案 5. メンタルヘルスの指針の試作. CAMPUS HEALTH 2009; 46(1):67-71. (査読・有)
58. 木道圭子, 福島雅子, 永渕久子, 武富弥栄子, 尾崎岩太, 佐藤 武. 鶏の生食が原因と思われた集団食中毒の発生について. CAMPUS HEALTH 2008; 46(1):247-248. (学会発表・有、査読・無)

59. 安宅勝弘, 斎藤憲司, 佐藤 武, 粥川裕平, 影山任佐. 大学院における休学・退学・留年学生に関する調査—平成 17 年度調査結果から—第 29 回全国大学メンタルヘルス研究会報告書. 2008. p. 109-115. (学会発表・有、査読・無)
60. 永田華千代, 藤井宏彦, 赤池紀生, 田中永一郎, 竹生政資, 佐藤 武, 中野正博, 片平起句, 福嶋昭子. 褥瘡の下肢浮腫軽減のための下肢マッサージの検討. ペリネイタルケア 2007; 26:1051-1055. (査読・有)
61. 児玉幸子, 佐藤 武, 新地浩一. 多文化間において比較した日本人のメンタルヘルスの特徴-留学生がよりよい大学生活を送るために-. 第 28 回全国メンタルヘルス研究会報告書. 2007. p.73-76. (学会発表・有、査読・無)
62. 佐藤 武. クラシック音楽を通じた表現療法～見られる自己から見る自己へ～. 第 34 回九州地区大学保健管理研究協議会報告書. 2006. p.99-101. (学会発表・有、査読・無)
63. 森田洋子, 佐藤 武. 摂食障害傾向者に対する心理検査と栄養摂取量の関係. 第 34 回九州地区大学保健管理研究協議会報告書. 2006. p.87-90. (学会発表・有、査読・無)
64. 佐藤 武. 慢性うつ状態に対する water therapy の 1 例. 全国メンタルヘルス研究会報告書. 2006. p.27-30. (学会発表・有、査読・無)
65. 佐藤 武. On-Line による精神科卒後研修評価システム. 精神神経学雑誌 2005; 107:582-589. (査読・有)
66. 田口尚人, 佐藤 武, 山田 茂人. Luscher's color test による色彩と心理検査の関係. 九州神経精神医学 2004; 50:162-172. (査読・有)
67. 田口尚人, 佐藤 武. Luscher's color test による色彩と心理検査の関係—BDI-STAI-MPI の相関—. 第 25 回全国メンタルヘルス研究会報告書. 2004. p.73-75. (学会発表・有、査読・無)
68. 佐藤 武, 田口尚人. 学生相談における Luscher's color test の適用. 第 25 回全国メンタルヘルス研究会報告書. 2004. p.76-77. (学会発表・有、査読・無)
69. 町田いづみ, 岸 泰宏, 佐藤 武, 保坂 隆. 治療計画のための患者評価尺度 (INTERMED) の応用. 最新精神医学 2004; 9(4):323-330. (査読・有)
70. 佐藤 武. インターネット中毒 internet addiction の精神科コンサルテーション. 最新精神医学 2004; 9(4):345-351. (査読・有)
71. 佐藤 武, 木道圭子, 永渕久子, 福島雅子. 佐賀大学における SARS 対策. 2004; CAMPUS HEALTH 41(1):149.
72. 町田いづみ, 岸 泰宏, 佐藤 武, 保坂 隆. 治療計画のための患者評価尺度 (INTERMED). 看護学雑誌 2004; 68:342-348. (査読・有)
73. 町田いづみ, 岸 泰宏, 佐藤 武, 保坂 隆. 治療計画のための患者評価尺度 (INTERMED) の応用. 総合病院精神医学 2004; 16:147-157. (査読・有)

74. 山田健志, 西村真紀, 大野每子, 藤沼康樹, 井上真智子, 一瀬邦弘, 前野哲博, 大坪天平, 佐藤 武. 家庭医療を特色とした診療所における精神疾患. 主訴と有病率についての研究. 総合病院精神医学 2004; 16(1):18-23. (査読・有)
75. 佐藤 武. 大学生にみられる強迫的傾向. 第 24 回全国大学メンタルヘルス研究会報告書. 2004. p.89-92. (学会発表・有、査読・無)
76. 佐藤 武, 木道圭子, 永渕久子, 福島雅子. 佐賀大学と佐賀医科大学の合併における現状と問題点. 第 33 回九州地区大学保健管理研究協議会報告書. 2004. p.33-36. (学会発表・有、査読・無)
77. 木道圭子, 福島雅子, 永渕久子, 佐藤 武. 大学生の Brugada 様心電図の発現頻度と経時の変化. 第 33 回九州地区大学保健管理研究協議会報告書. 2004. p.51-53. (学会発表・有、査読・無)
78. 佐藤 武. 原因不明の腰痛症とうつ病. 日本職業・災害医学会雑誌 2003; 51:248-250. (査読・有)
79. 押山乃理子, 山田健志, 佐藤 武, 保坂 隆. 高齢在宅介護者の QOL(Quality of life) の測定－介護者と非介護者の比較. 総合病院精神医学 2003;15:188-193. (査読・有)
80. 佐藤 武, 野村総一郎. 日本総合病院精神医学会認定専門医に必要とされる知識・技術・経験－評議員を対象としたアンケート調査から－. 総合病院精神医学 2003; 15:63-66. (査読・有)
81. 松井佐知子, 佐藤 武, 大西弘高, 小泉俊三. 大学病院と一般の地域支援病院のプライマリ・ケア部門における精神疾患の有病率に関する比較調査－予備調査. 総合病院精神医学 2002; 14:38-43. (査読・有)
82. 佐藤 武, 永渕久子, 福島雅子, 原田嘉文. 大学新入生における精神障害の有病率に関する調査. CAMPUS HEALTH 2002; 38(2):533-536. (査読・有)
83. 佐藤 武, 前野哲博. 慢性疼痛患者への精神療法的アプローチ. 痛みの解釈モデルの再構築. 慢性疼痛 2002; 21:3-7. (査読・有)
84. 保坂 隆, 山田健志, 佐藤 武. コンサルテーション・リエゾン精神医学からみた milnacipran の有効性. 臨床精神薬理, 5 (増刊) 2002; 121-126. (査読・有)
85. 佐藤 武, 永渕久子, 福島雅子, 木道圭子. 留学生の高脂血症に対する認知行動療法的アプローチ. 第 32 回九州地区大学保健管理研究協議会報告書. 2002. p. 33-36. (学会発表・有、査読・無)
86. 福島雅子, 永渕久子, 木道圭子, 佐藤 武. 留学生検診時のコミュニケーションマニュアル. 第 32 回九州地区大学保健管理研究協議会報告書. 2002. p.67-70. (学会発表・有、査読・無)
87. 佐藤 武, 姜 楠, 孫月吉, 姜 潮, 于 紅梅, 周 莉, 山田茂人, 十時忠秀. 身体表現性障害にみられる病氣行動. 日本心療内科学雑誌 2001; 5:155-159. (査読・有)

88. 山田健志, 藤沼康樹, 西村真紀, 本多一郎, 北田志郎, 佐藤 武, 大滝純司. 身体疾患として説明しにくい症状を持つ患者に対する診療. 家庭医を対象とした研究. 家庭医療 2001; 8:29-35. (査読・有)
89. 佐藤 武, 姜 楠, 竹生政資, 山田茂人. 生体情報フラクタル次元解析とNK細胞活性・血清コルチゾールとの関連について. 脳と精神の科学 2001; 12:335-340. (査読・有)
90. 佐藤 武, 永渕久子, 福島雅子, 原田嘉文. アルコールパッチテストとスクリーニングテストによる大学生のアルコール体質に関する調査. 第31回九州地区大学保健管理研究協議会. 2001. p.55-57. (学会発表・有、査読・無)
91. 姜楠, 佐藤 武, 楊 邦祥, 十時忠秀. 疼痛をもつ患者の舌カラー分析. 痛みと漢方 2001; 11:36-40. (査読・有)
92. 保坂 隆, 青木孝之, 渡辺俊之, 佐藤 武. リエゾン精神医学からみた卒後研修での精神科必修化について. 精神経誌 2000; 102:939-943. (査読・有)
93. 武市昌士, 佐藤 武, 姜 楠. 特性不安, 損害回避と精神疲労. 日本未病システム学会誌 2000; 6(2):49-52 (査読・有) .
94. 武市昌士, 佐藤 武. 情動－呼吸関係からみた漢方薬の治療効果について. 日本東洋心身医学研究 2000; 15:31-35. (査読・有)
95. 大西弘高, 佐藤 武, 山本巻一, 小泉俊三. 神経症状を訴えるが神経所見に異常を認めない患者. JIM 2000; 10(5):452-454. (査読・有)
96. 山田健志, 西村真紀, 本多一郎, 阿部佳子, 小川智美, 押山乃里子, 永井久栄, 北田志郎, 藤沼康樹, 佐藤 武. プライマリ・ケアにおける抗うつ薬処方現状について. 家庭医療 2000; 7:10-17. (査読・有)
97. 武市昌士, 佐藤 武. 大学保健管理活動における東洋心身医学の活用－機能性心身不調和状態(半健康)の病態の計量診断の試み. 日本未病システム学会雑誌 1999; 5:89-92. (査読・有)
98. 武市昌士, 佐藤 武. 未病システム学における東洋心身医学の活用－半健康の病態の計量診断の試み－, 日本未病システム学会雑誌 1999; 5:82-85. (査読・有)
99. 武市昌士, 佐藤 武. 半健康による東洋心身医学的アプローチによる精神神経免疫内分泌学的検討. 日本東洋心身医学研究会誌 1999; 14:45-52. (査読・有)
100. 武市昌士, 佐藤 武. 医学生における漢方薬とリラクセーション訓練の全身適用にみられた駆瘀血剤のNK細胞活性抑制効果について. 瘀血研究 1999; 18:95-107. (査読・有)
101. 樋高克彦, 佐藤 武, 佐藤清治, 宮崎耕治. ストーマ受容程度の診断法と進級法における心理学的技法の応用について. 日本ストーマ学会誌 1999; 15:8-10. (査読・有)
102. 佐藤 武. 舌証からみた慢性疼痛の漢方治療. 痛みと漢方 1999; 10:24-29. (査読・有)

103. 佐藤 武. 計量診断による「不安と瘀血」－舌カラー分析と瘀血生体情報のフラクタル次元解析を中心に－. 大阪精神神経科漢方研究会誌 1998; 2:25－29.
104. 瀬戸秀文, 佐藤 武, 松永昌宏, 吉住 昭, 藤林武史, 上村敬一. 一般医師の自殺企図事例への対応－一般医療機関における精神科救急医療の側面から－. 臨床精神医学 1998; 27:1353－1361.(査読・有)
105. 武市昌士, 佐藤 武. 東西医学による未病（半健康）の現代医学的意義. 日本未病システム学会雑誌 1998; 4:40-43. (査読・有)
106. 武市昌士, 佐藤 武. 東西医学による未病（半健康）の診断と治療（パイロット研究）. 日本未病システム学会雑誌 1998; 4:44-47. (査読・有)
107. 武市昌士, 佐藤 武. 「気血水」不調和状態診断法による漢方製剤の抗不安抑うつ効果について（パイロット研究）. 日本東洋心身医学研究 1998; 13:15－23. (査読・有)
108. 武市昌士, 佐藤 武. Oriental Orthodontic Psychosomatic Medicine による半健康・未病の研究－不安親和性体質の診断と治療－. 瘀血研究 1998; 17:127-138. (査読・有)
109. 武市昌士, 佐藤 武. 東西医学による未病（半健康）a の心身医学的研究 1. 舌カラー分析を基礎にしたストレス・生活習慣関連「気血水」不調和状態の同定とその診断法の開発. 瘀血研究 1997; 16:45-54. (査読・有)
110. 武市昌士, 佐藤 武. 東西医学による未病（半健康）の心身医学的研究 2. 舌カラー分析を基礎にしたストレス・生活習慣関連「気血水」不調和状態診断法による随証治療の検討. 瘀血研究 1997; 16:55-63. (査読・有)
111. 武市昌士, 佐藤 武. 桂枝茯苓丸により心身機能の修復をみた瘀血関連未病（半健康）の1事例－計量観察による瘀血性精神身体情報解析に基づく事例検討－. 日本東洋心身医学研究会誌 1997; 12:23-31. (査読・有)
112. 佐藤 武, 武市昌士, 相浦佐和子, 萱場光治, 成澤寛, 城間智恵, 小泉俊三. 向精神薬投与による重症型薬疹. 総合病院精神医学 1997; 9:78-81. (査読・有)
113. 佐藤 武, 谷口研一郎, 武市昌士. 塩酸トラゾドンの併用が奏効した老年期うつ病の2症例. Scope 1997; 36(11):24-25. (査読・有)
114. 吉住昭, 瀬戸秀文, 藤林武史, 香月和子, 上村敬一, 松永昌宏, 松島道人, 佐藤 武. 佐賀県における精神科救急－緊急事例に対する地域精神保健サービスシステムの実態とあり方に関する研究から－. 病院・地域精神医学 1997; 40:8-16. (査読・有)
115. 原 富英, 佐藤 武, 武市昌士, 高崎光浩, 十時忠秀. アルツハイマー型痴呆患者における2次元眼球運動のフラクタル次元解析. Neurosciences 1995; 21:231-234. (学会発表・有、査読・無)
116. 武市昌士, 佐藤 武. 入院癌患者のコンサルテーション・リエゾン活動, 九州神経精神医学 1996; 42:150-154. (査読・有)

117. 武市昌士, 佐藤 武. 瘀血診断の客観化のための舌カラー分析法, 瘀血研究 1996; 15, 74-78. (査読・有)
118. 佐藤 武, 白浜雅司, 武市昌士, 堀川俊一. ドクター・ショッピングー佐賀医科大学医学部附属病院総合外来における調査ー. 日本プライマリ・ケア学会誌 1996; 19:298-303. (査読・有)
119. 魏 家鳳, 何 頌躍, 孔江聯, 佐藤 武, 武市昌士, 金関 毅. 中国江西医科大学と佐賀医科大学の卒前医学教育に関する比較研究[2]ー江西医科大学医学生の中医学と精神医学に対する意識調査ー. 中医臨床 1996; 17:112-118. (査読・有)
120. 杉本京子, 立石和子, 中島幹夫, 佐藤 武, 田中英子, 十時忠秀. ICU における開心術後患者の光照射による体温の変化について. ICU と CCU 1996; 20:881-885. (査読・有)
121. 佐藤 武, 武市昌士, 原富英, 麻生修一郎, 谷口研一郎, 甲斐 保, 島田洋, 尾中祐二. 慢性期分裂病(入院患者)の2次元眼球運動フラクタル次元解析, 臨床精神神経薬理学会シノプシス 1996; 5:152-154. (学会発表・有、査読・無)
122. 高崎光浩, 佐藤 武, 武市昌士, 十時忠秀, 原 富英. 眼球運動の定量的解析法. Neuroscience 1995; 21(Suppl):211-214. (学会発表・有、査読・無)
123. 佐藤 武, 武市昌士. 大柴胡湯の併用が有効な精神分裂病の3症例ー陽性症状に対する中医学的治療機序の考察. 日本東洋医学雑誌 1995; 46:453-458. (査読・有)
124. 武市昌士, 佐藤 武. 総合外来精神医学における検討課題: 総合外来受診患者とタバコ依存ー臨床疫学調査を踏まえてー. 九州神経精神医学 1995; 41:284-288.. (査読・有)
125. 武市昌士, 佐藤 武. 漢方診療における舌証・脈証・寒熱証・燥湿の客観化の試み. 日本東洋心身医学研究 1995; 10:38-43. (査読・有)
126. 武市昌士, 佐藤 武. 東洋エキスパートシステム「弁証論治」による治療経験ー舌カラー・脈波・皮膚温度による薬効判定について. 日本東洋心身医学研究 1995; 10:44-50. (査読・有)
127. 武市昌士, 佐藤 武, 原 富英, 高崎光浩, 十時忠秀. 大うつ病患者における2次元眼球運動のフラクタル次元解析. Neurosciences 1995; 21:223-22. (学会発表・有、査読・無)
128. 佐藤 武, 武市昌士, 原富英, 高崎光浩, 十時忠秀. 精神分裂病患者における2次元眼球運動のフラクタル次元解析. Neurosciences 1995; 21:227-230. (学会発表・有、査読・無)
129. 佐藤 武, 武市昌士. 六君子湯が奏効した神経性無食欲症と抑うつ神経症の二症例, 日本東洋医学雑誌 1994; 45:381-386. (査読・有)

130. 佐藤 武, 武市昌士, 高崎光浩, 十時忠秀. カラー表示による精神症状推移パターン化の試み－パイロット・スタディ (1)－. *Neurosciences* 20 (suppl) 1994; 85-88. (学会発表・有、査読・無)
131. 武市昌士, 佐藤 武. 総合外来におけるコンサルテーション・リエゾン活動とドクターショッピング患者の精神医学的検討. *精神科治療学* 1994; 9:569-575. (査読・有)
132. 武市昌士, 佐藤 武. コンピュータ診断弁証による精神科漢方診療の試み. *日本東洋心身医学研究* 1994; 9:34-39. (査読・有)
133. 武市昌士, 佐藤 武. 入院癌患者のコンサルテーション・リエゾン精神医学的検討. 平成5年度研究助成報告集 (岡本記念財団) 1994; 6:129-135. (査読・無)
134. 佐藤 武, 武市昌士, 白浜雅司, 福井次矢. Doctor Shopping について－自己記入式調査票による検討－. *総合病院精神医学* 1994; 6:59-67. (査読・有)
135. 武市昌士, 佐藤 武. 総合外来を受診した doctor shopping の疫学調査にもとづく向精神薬療法の実践. *精神薬療基金研究年報* 1993; 24:290-297. (査読・無)
136. 武市昌士, 佐藤 武. 老人保健施設での中高度痴呆者への漢方治療経. *漢方診療* 1993; 12: 16-19. (査読・無)
137. 佐藤 武, 武市昌士, 原 富英. Lithium carbonate 併用投与が奏効した強迫的飲水行動を伴う慢性分裂病の1例. *精神科治療学* 1993; 8:583-585. (査読・有)
138. 佐藤 武, 武市昌士, 福岡裕行, 河野哲郎. 精神分裂病の東洋医学エキスパート・システム「弁証論治」(中医学的コンピュータ診断ソフト)による検討. *東洋医学* 1993; 21:66-68. (査読・有)
139. 佐藤 武, 武市昌士. 六君子湯が奏効した神経性食欲不振症の1例. *日本東洋心身医学研究* 1993; 8:33-36. (査読・有)
140. 佐藤 武, 武市昌士. 総合外来精神医学に関する調査研究－Ⅲ－農薬自殺企図の実態－. *精神科治療学* 1992; 7:161-168. (査読・有)
141. 崎畑広昭, 佐藤 武, 武市昌士, 赤澤宏平, 野瀬善明. 中・長期破瓜型精神分裂病患者の予後決定因の統計学的検討. *精神科治療学* 1992; 7:267-275. (査読・有)
142. 武市昌士, 佐藤 武. 橋病変をもつ躁うつ病状態の4例. *老化と疾患* 1992; 5:78-81. (査読・有)
143. 武市昌士, 佐藤 武. 総合外来におけるドクターショッピングのコンサルテーション・リエゾン精神医学的検討. 平成4年度研究助成報告集 (岡本記念財団) 1992; 5. 153-157. (査読・無)
144. 佐藤 武, 崎畑広昭, 武市昌士. 総合外来精神医学に関する調査研究－V. sulpiride 投与抑うつ状態患者の30項目 General Health Questionnaire (GHQ)による比較－. *九州神経精神医学* 1991; 37:240-246. (査読・有)
145. 武市昌士, 佐藤 武, 崎畑広昭. 総合外来精神医学に関する調査研究－I－総合診療部医師による向精神薬の投与状況. *精神科治療学* 1991; 6:845-854. (査読・有)

146. 武市昌士, 佐藤 武, 木村幸登. 総合外来精神医学に関する調査研究－Ⅱ－精神科医師に照会されなかった精神障害例の検討と問題点. 精神科治療学 1991; 6:985-991. (査読・有)
147. 武市昌士, 佐藤 武. 総合外来精神医学に関する調査研究－Ⅳ－民間療法の実態(1). 精神科治療学 1991; 6:1311-1319. (査読・有)
148. 佐藤 武, 武市昌士, 音成龍司. 精神病様エピソードを示す複雑部分発作の一症例. 九州神経精神医学 1991; 37:15-23. (査読・有)
149. 佐藤 武, 武市昌士, 崎畑広昭. 他科における向精神薬の投与状況 - 佐賀医科大学附属病院総合外来における調査から -. プライマリ・ケア 1991; 14:531-533. (査読・有)
150. 崎畑広昭, 庄野禎二, 佐藤 武, 武市昌士. 炭酸リチウム併用投与が有効であった強迫症状を伴う難治性分裂病の2例. 九州神経精神医学 37. 1991; 107-113. (査読・有)
151. 武市昌士, 佐藤 武, 崎畑広昭, 人見雅彦, 吉村真由美. 佐賀医科大学附属病院救急部(時間外)患者のコンサルテーション・リエゾン精神医学に関する統計調査と今後の検討課題への検討について. 九州神経精神医学 1990; 36:18-28. (査読・有)
152. 佐藤 武, 原 富英, 武市昌士, 篠田久治. 精神分裂病を合併した peroneal muscular atrophy の2例. 九州神経精神医学 1990; 36:278-283. (査読・有)
153. 武市昌士, 佐藤 武, 中川龍治, 庄野禎二, 園田敏裕. 他科における向精神薬の投与状況(Ⅱ)-内科領域における抗不安薬の調査から-. 精神医学 1988; 30:1205-1212. (査読・有)
154. 武市昌士, 佐藤 武, 尾中祐二, 上村敬一. 佐賀医科大学附属病院精神神経科病棟活動の5年のあゆみ－入院患者統計調査－. 九州神経精神医学 1988; 34. 90-94. (査読・有)
155. 武市昌士, 佐藤 武, 大熊一孝, 梯加代子, 桑野敬悟, 山田久美子. 総合外来を備えた1大学附属病院における精神科診療の実態－入院患者の問題志向型診療録(POMR)の調査から－. 九州神経精神医学 1989; 35:40-44. (査読・有)
156. 武市昌士, 佐藤 武. 酩酊犯罪の一精神鑑定例－飲酒時脳波の連続記録－. Neurosciences 1989;15:91-93. (学会発表・有、査読・無)
157. 武市昌士, 佐藤 武, 山本卓郎. 精神科入院患者の見られる身体疾患－POMR問題リストによる調査から－. 九州神経精神医学 1989;35:175-180. (査読・有)
158. 佐藤 武, 武市昌士. 睡眠時ミオクロヌス不眠症候群の1例. Neurosciences 1989; 15:88-90. (学会発表・有、査読・無)
159. 佐藤 武, 大熊一孝, 山本卓郎, 武市昌士. 癌患者の精神科コンサルテーション－61症例の依頼内容と検討－. 九州神経精神医学 1989; 35:129-134. (査読・有)

160. 武市昌士, 佐藤 武, 上村敬一, 尾中祐二. 問題志向型診療録 (POMR) による佐賀医科大学附属病院精神神経科の入院患者の動態調査－自殺企図, 離院, 転棟, 転院患者の分析について－. 九州神経精神医学 1988; 34:341-345. (査読・有)
161. 佐藤 武, 武市昌士. アイカメラによる眼球運動観察－ルビンの図地反転図形に対する注視点解析 (予報) －. Neurosciences 1988; 14:63-65. (学会発表・有、査読・無)
162. 佐藤 武, 上村敬一, 武市昌士. うつ状態が先行した悪性腫瘍の3例. 九州神経精神医学 1988; 34:222-228. (査読・有)
163. 中川龍治, 佐藤 武, 松島道人, 武市昌士, 中川保孝. 老年期および初老期の脳器質性精神障害に対する brovicamine と dihydroergotoxine の臨床効果. Progress in Medicine 1988; 8:944-952. (査読・有)
164. 武市昌士, 佐藤 武, 中川龍治. 他科における向精神薬の投与状況 (I) －コンピュータ入力処方への調査から－. 精神医学 1987; 29:533-538. (査読・有)
165. 佐藤 武, 庄野禎二, 武市昌士. 他科医の精神科的援助に関する意識調査. 医学教育 1987; 18:275-281. (査読・有)
166. 佐藤 武, 武市昌士. 全身麻酔の既往歴をもつ悪性症候群の一例. 九州神経精神医学 1987; 33:41-45. (査読・有)
167. 佐藤 武, 松島道人, 前田久雄, 武市昌士. 2 次性両側同期性 3Hz 棘波複合を示す分類困難な意識消失発作の1例. 九州神経精神医学 1987; 33:359-363. (査読・有)
168. 佐藤 武, 木村幸登, 武市昌士. 向精神薬の多剤併用について－1 新設医科大学附属病院精神神経科における調査から－. 九州神経精神医学 1986; 32:175-181. (査読・有)
169. 佐藤 武, 武市昌士, 向野英介. ブロモクリプチリン投与によって良好な経過をみた肝性脳症の1例. 九州神経精神医学 1985; 31:51-55. (査読・有)
170. 佐藤 武, 上野豊吉, 武市昌士, 松尾修三, 弟子丸和博, 林 道彦. 向精神薬長期服用患者の心電図異常に対するトラピジル (ロコルナール) の治療効果. 薬理と治療 1985; 13:539-548. (査読・無)
171. 坂井 誠, 武市昌士, 佐藤 武. 新設医科大学新入生のパーソナリティ・トレート (続報) －追跡調査による検討－. 九州神経精神医学 1984; 30:393-397. (査読・有)

〔短 報〕

1. 佐藤 武. 目でみる漢方診断 (証) 「計量漢方診断法」の試み[2] 脈波. 漢方医学 1995; 19(5):22-23. (査読・無)

2. 武市昌士, 佐藤 武. 目でみる漢方診断 (証) 「計量漢方診断法」の試み[1] 舌カラー. 漢方医学 1995; 19(4): 22-23. (査読・無)
3. 武市昌士, 佐藤 武. 目でみる漢方診断 (証) 「計量漢方診断法」の試み[3] 皮膚温度・. 水分量. 漢方医学 1995; 19(6):192-193. (査読・無)
4. 武市昌士, 佐藤 武. 目でみる漢方診断 (証) 「計量漢方診断法」の試み[4] 症状 (指標) 推移. 漢方医学 1995; 19(7):26-27. (査読・無)
5. 武市昌士, 佐藤 武. 目でみる漢方診断 (証 計量漢方診断法の試み [5] 瘀血. 漢方医学 1995;19(8): 264-265. (査読・無)
6. 武市昌士, 佐藤 武. 目でみる漢方診断 (証) 計量漢方診断法の試み[6] 腎虚. 漢方医学 1995; 19(9):300-301. (査読・無)
7. 武市昌士, 佐藤 武. 「シニア老年期」精神障害の漢方 ①老年期精神障害の問題点と課題ー「シニア老年期」の位置づけー. 漢方診療 1994; 13(2), 39-41. (査読・無)
8. 武市昌士, 佐藤 武. 「シニア老年期」精神障害の漢方 ー 人参含有エキス剤による躁転した 2 症例. 漢方診療 1994; 13(3):45-47. (査読・無)
9. 武市昌士, 佐藤 武. 「シニア老年期」精神障害の漢方 ③ 予期せぬ反応を示した 3 症例ー漢方薬のマイナス効果についてー. 漢方診療 1994; 13(4):45-47.. (査読・無)
10. 武市昌士, 佐藤 武. 「シニア老年期」精神障害の漢方 ⑨ 痴呆に対する西洋薬と漢方薬の併用治療の試み (2) ーaniracetam と当帰芍薬散の併用. 漢方診療 1994; 13(10):37-39. (査読・無)
11. 武市昌士, 佐藤 武. 「シニア老年期」精神障害の漢方 ⑩ 当帰芍薬散により ADL 上に改善をみた「シニア老年期」痴呆症の 2 例. 漢方診療 1994; 13(11):33-35. (査読・無) (査読・無)

12. 武市昌士, 佐藤 武. 「シニア老年期」精神障害の漢方 ⑪ 大柴胡湯により不眠・不穏状態の改善をみた「シニア老年期」痴呆の2例. 漢方診療 1994;13(12):35-36. (査読・無)
13. 武市昌士, 佐藤 武. 「シニア老年期」精神障害の漢方 ④ 補中益気湯により改善をみた機能的尿失禁の2症例. 漢方診療 1994; 13(5):39-41. (査読・無)
14. 武市昌士, 佐藤 武. 「シニア老年期」精神障害の漢方 ⑤ 大建中湯で良好な経過をみた機能的イレウスの1症例. 漢方診療 1994; 13(6):39-41. (査読・無)
15. 武市昌士, 佐藤 武. 「シニア老年期」精神障害の漢方 ⑥ 上腹部不快感に加え胃石の存在が疑われたうつ病の1例. 漢方診療 1994; 13(7):35-37. (査読・無)
16. 武市昌士, 佐藤 武. 「シニア老年期」精神障害の漢方 ⑦ 人參含有エキス剤による躁転後著明な両下肢浮腫みた「スーパー老年期」症. 漢方診療 1994; 13(8):33-36. (査読・無)
17. 武市昌士, 佐藤 武. 「シニア老年期」精神障害の漢方 ⑧ 痴呆に対する西洋薬と漢方薬の併用治療の試み(1)－aniracetamと黄連解毒湯の併用－. 漢方診療 1994; 13(9):35-37. (査読・無)
18. 佐藤 武, 武市昌士. 総合外来受診患者のタバコ依存の臨床疫学調査(1)－欧米・アジア諸国との有病率の比較－. 第3回ニコチン依存研究会記録集 1993. p.29-30. (査読・無)
19. 武市昌士, 佐藤 武. 総合外来受診患者のタバコ依存の臨床疫学調査(2)－他の精神障害との共有罹患率－. 第3回ニコチン依存研究会記録集 1993. p. 31-32. (査読・無)
20. 佐藤 武, 武市昌士. 総合外来受診患者のタバコ依存の臨床疫学調査(3)－logistic regression modelを用いた危険因子の検討－. 第3回ニコチン依存研究会記録集 1993. p.33-34. (査読・無)

〔症例報告〕

1. 佐藤 武. 心因性視覚障害. 眼科と経営 2007; 18:24. (査読・無)
2. 佐藤 武: 私のインシデント・ノート①早すぎる退院. Medical Doctor 6月号. 2007; 6:6-7. (査読・無)
3. 佐藤 武. 今月のケーススタディ 症例1 様々な身体症状を訴える症例. 今月の治療 2004; 12(7):3-8. (査読・無)
4. 福本純雄, 佐藤 武. 総合診療の現場におけるこころとからだのケア－SAGA なんても相談クリニックの現場から－8. “なんでも相談医”の役割とは. 医学のあゆみ 2004; 208(4):212-213. (査読・無)
5. 福本純雄, 佐藤 武. 総合診療の現場におけるこころとからだのケア－SAGA なんても相談クリニックの現場から－9. 性同一性障害に悩む患者はどこに援助を?. 医学のあゆみ 2004; 209(4):226-227. (査読・無)
6. 福本純雄, 佐藤 武. 総合診療の現場におけるこころとからだのケア－SAGA なんても相談クリニックの現場から－10. 医療情報過多による患者の不信感をめぐって. 医学のあゆみ 2004; 210(4):280-281. (査読・無)
7. 佐藤 武, 福本純雄. 総合診療の現場におけるこころとからだのケア－SAGA なんても相談クリニックの現場から－1. はじめに. 医学のあゆみ 2003; 205(11):874-875. (査読・無)
8. 佐藤 武, 福本純雄. 総合診療の現場におけるこころとからだのケア－SAGA なんても相談クリニックの現場から－2. 不登校. 医学のあゆみ 2003; 206(2):166-167. (査読・無)
9. 佐藤 武, 福本純雄. 総合診療の現場におけるこころとからだのケア－SAGA なんても相談クリニックの現場から－3. 病気が治らない不満. 医学のあゆみ 2003; 206:440-441. (査読・無)
10. 福本純雄, 佐藤 武. 総合診療の現場におけるこころとからだのケア－SAGA なんても相談クリニックの現場から－4. インターネット情報氾濫とセカンドオピニオン. 医学のあゆみ 2003; 206:870-871. (査読・無)

11. 福本純雄, 佐藤 武. 総合診療の現場におけるところとからだのケア－SAGA なんて
も相談クリニックの現場から－ 5. 慢性痛とセカンド・オピニオン. 医学のあゆみ
2003; 207:130-131. (査読・無)
12. 福本純雄, 佐藤 武. 総合診療の現場におけるところとからだのケア－SAGA なんて
も相談クリニックの現場から－ 6. シングルマザーへのセカンド・オピニオン. 医学
のあゆみ 2003; 207:426-427. (査読・無)
13. 福本純雄, 佐藤 武. 総合診療の現場におけるところとからだのケア－SAGA なんて
も相談クリニックの現場から－ 7. Doctor shopping の背景にみえるもの. 医学のあ
ゆみ 2003; 207:934-935. (査読・無)
14. 佐藤 武, 加藤博之, 瀧 健治. 精神科救急 Case Conference 第 29 回難しい患者と
家族－医療者への過剰な依存と攻撃. 総合臨床 2002; 51:215-217.
15. 佐藤 武, 加藤博之, 瀧 健治. 精神科救急 Case Conference 第 21 回癌恐怖と自殺
企図. 総合臨床 2001; 50:866-868.
16. 佐藤 武, 加藤博之, 瀧 健治. 精神科救急 Case Conference 第 22 回精神科救急に
おける電話の功罪. 総合臨床 2001; 50:1983-1986.
17. 佐藤 武, 加藤博之, 瀧 健治. 精神科救急 Case Conference 第 23 回精神障害者に
おける異物誤飲. 総合臨床 2001; 50. 2191-2193.
18. 佐藤 武, 加藤博之, 瀧 健治. 精神科救急 Case Conference 第 24 回交通事故後に
みられる精神障害. 総合臨床 2001; 50:2395-2398.
19. 佐藤 武, 加藤博之, 瀧 健治. 精神科救急 Case Conference 第 25 回 真実はどこ
に？－精神障害者にみられる予測困難な事故. 総合臨床 2001; 50:2633-2635.
20. 佐藤 武, 加藤博之, 瀧 健治. 精神科救急 Case Conference 第 26 回 不適応と精神
科救急. 総合臨床 2001; 50:2873-2875
21. 佐藤 武, 加藤博之, 瀧 健治. 精神科救急 Case Conference 第 27 回 一気飲みによ
る急性アルコール中毒. 総合臨床 2001; 50:3119-312.

22. 佐藤 武, 加藤博之, 瀧 健治. 精神科救急 Case Conference 第 28 回コミュニケーションがとれない患者－昏迷状態－. 総合臨床 2001; 50:3347-3349.
23. 佐藤 武, 加藤博之, 瀧 健治. 精神科救急 Case Conference 第 30 回慢性疼痛患者への精神療法的アプローチ. re-attribution model. 総合臨床 2001; 51:439-441.
24. 佐藤 武, 加藤博之, 瀧 健治. 精神科救急 Case Conference 第 31 回意識消失を繰り返す転換性障害－家族内の葛藤－. 総合臨床 2001; 51:635-637.
25. 佐藤 武, 原 富英, 加藤 博之, 永嶋 太, 川渕 久司, 吉田聖妙, 戸塚 和敏, 大串和久, 瀧 健治. 精神科救急 Case Conference 第 16 回 意識障害で救急部へ搬送された精神障害者－その後にインスリノーマが発見された例－. 総合臨床 2000; 49:2935-2937.
26. 佐藤 武, 加藤 博之, 永嶋 太, 川渕 久司, 吉田聖妙, 戸塚 和敏, 大串 和久, 瀧 健治. 精神科救急 Case Conference 第 17 回 パニック発作－救急場面における診断と治療－. 総合臨床 2000; 49:3136-3138.
27. 佐藤 武, 加藤 博之, 吉田聖妙, 川渕 久司, 永嶋 太, 戸塚 和敏, 大串 和久, 瀧 健治. 精神科救急 Case Conference 第 18 回 慢性疾患とヒポコンドリー－医療者への依存と自立－. 総合臨床 2000; 50. 164-167.
28. 佐藤 武, 加藤 博之, 吉田聖妙, 川渕 久司, 永嶋 太, 戸塚 和敏, 大串 和久, 瀧 健治. 精神科救急 Case Conference 第 19 回 慢性難治性疾患との戦い－分け与えられる力－. 総合臨床 2000; 50:388-390.
29. 佐藤 武, 加藤 博之, 吉田聖妙, 川渕 久司, 永嶋 太, 戸塚 和敏, 大串 和久, 瀧 健治. 精神科救急 Case Conference 第 20 回 老年期患者における自殺衝動. 総合臨床 2000; 50:634-636.
30. 佐藤 武, 久野泰介, 加藤 博之, 岩村 高志, 川渕 久司, 伊藤 栄近, 戸塚 和敏, 大串和久, 瀧 健治. 精神科救急 Case Conference 第 12 回 ウット依存の 3 症例-アダルトチルドレンと依存-. 総合臨床 2000; 49:2134-2136. (査読・無)

31. 佐藤 武, 原 富英, 加藤 博之, 永嶋 太, 川渕 久, 吉田聖妙, 戸塚 和敏, 大串 和久, 瀧 健治. 精神科救急 Case Conference 第 15 回 向精神薬を服用する高齢者にみられたイレウス. 総合臨床 2000; 49:2709-2711. (査読・無)
32. 佐藤 武, 姜 楠, 加藤 博之, 永嶋 太, 川渕 久司, 吉田聖妙, 戸塚 和敏, 大串 和久, 瀧 健治. 精神科救急 Case Conference 第 14 回 精神科救急における老年期患者—不安と抑うつについて—. 総合臨床 2000;49:2504-2507. (査読・無)
33. 佐藤 武, 奥 栄作, 加藤 博之, 岩村 高志, 川渕 久司, 伊藤 栄近, 戸塚 和敏, 大串 和久, 瀧 健治. 精神科救急 Case Conference 第 13 回 農薬自殺企図—人間関係を誘因として—. 総合臨床 2000; 49:2320-2322. (査読・無)
34. 佐藤 武, 久野泰介, 加藤 博之, 岩村 高志, 川渕 久司, 伊藤 栄近, 戸塚 和敏, 大串 和久, 瀧 健治. 精神科救急 Case Conference 第 12 回 ウット依存の 3 症例-アダルトチルドレンと依存-. 総合臨床 2000; 49:2134-2136. (査読・無)
35. 佐藤 武, 石川和弘, 加藤 博之, 岩村 高志, 川渕 久司, 伊藤 栄近, 戸塚 和敏, 大串 和久, 瀧 健治. 精神科救急 Case Conference 第 11 回 精神科救急における思春期患者—家族の理解について-. 総合臨床 2000; 49:1910-1912. (査読・無)
36. 佐藤 武, 原 富英, 加藤 博之, 岩村 高志, 川渕 久司, 伊藤 栄近, 戸塚 和敏, 大串 和久, 瀧 健治. 精神科救急 Case Conference 第 10 回 発熱を呈する精神科患者について—悪性症候群を含めた対応-. 総合臨床 2000; 49:968-970. (査読・無)
37. 佐藤 武, 本村春彦, 加藤 博之, 岩村 高志, 川渕 久司, 伊藤 栄近, 戸塚 和敏, 大串 和久, 瀧 健治. 精神科救急 Case Conference 第 9 回 熱傷による自殺企図患者—治療の場の設定について-. 総合臨床 2000; 49:793-796. (査読・無)
38. 佐藤 武, 山本 ゆかり, 加藤 博之, 岩村 高志, 川渕 久司, 伊藤 栄近, 戸塚 和敏, 大串 和久, 瀧 健治. 精神科救急 Case Conference 第 8 回 高速道路パーキングエリアからの救急依頼例—覚醒剤使用による急性精神病状態—. 総合臨床 2000; 49:607-610. (査読・無)

39. 佐藤 武, 山田健志, 加藤博之, 岩村高志, 川渕久司, 伊藤栄近, 戸塚正敏, 大串和久, 瀧 健治. 精神科救急 Case Conference 第7回 早すぎる退院－向精神薬の多量服用. 総合臨床 2000; 49:406-409. (査読・無)
40. 加藤博之, 早川正樹, 岩村高志, 伊藤栄近, 戸塚正敏, 大串和久, 瀧 健治, 佐藤 武. 精神科救急 Case Conference 第6回 救急外来で遭遇する精神科にコンサルトが必要な意識障害. 総合臨床 2000; 49:205-207. (査読・無)
41. 加藤博之, 早川正樹, 岩村高志, 伊藤栄近, 戸塚正敏, 大串和久, 瀧 健治, 佐藤 武. 精神科救急 Case Conference 第5回 救急外来に搬送された痴呆老人への対応. 総合臨床 1999; 48:2920-2922. (査読・無)
42. 加藤博之, 早川正樹, 岩村高志, 伊藤栄近, 戸塚正敏, 大串和久, 瀧 健治, 佐藤 武. 精神科救急 Case Conference 第4回 救急医を悩ませた譫妄状態を呈する病的酩酊患者. 総合臨床 1999; 48:2718-2720. (査読・無)
43. 加藤博之, 早川正樹, 岩村高志, 伊藤栄近, 戸塚正敏, 大串和久, 瀧 健治, 佐藤 武. 精神科救急 Case Conference 第3回 「霊が見える」と言う子供を精神科医に見せない母親. 総合臨床 1999; 48:2450-2452. (査読・無)
44. 加藤博之, 早川正樹, 岩村高志, 伊藤栄近, 戸塚正敏, 大串和久, 瀧 健治, 佐藤 武. 精神科救急 Case Conference 第2回 自殺企図を繰り返す女性たち. 総合臨床 1999; 48: 2253-2256. (査読・無)
45. 加藤博之, 早川正樹, 岩村高志, 伊藤栄近, 戸塚正敏, 大串和久, 瀧 健治, 佐藤 武. 精神科救急 Case Conference 第1回 自殺未遂症例の入院先？－精神科病棟・一般病棟の一長一短－. 総合臨床 1999; 48:2029-2031. (査読・無)
46. 佐藤 武, 木谷崇和, 武市昌士. Haloperidol によると思われる薬物性肺臓炎を呈した分裂病の1例. 精神医学 1988; 30:203-205. (査読・有)

〔著 書〕

単著および共著：

1. 佐藤 武. 医療からの学びー佐賀新聞「診察室から」二〇年間の軌跡、佐賀：佐賀新聞社、2018, p1-175.
2. 佐藤 武. 中嶋 稔. こころアレルギー. 佐賀：佐賀新聞社、2018, p1-170.
3. 佐藤 武. うつ 100 サイン. 東京：ベストセラーズ, 2004, p.1-229.
4. 佐藤 武, 渡辺俊之. メディカル・サイコセラピーープライマリ・ケアにおけるサイコセラピー. 東京：テンタクル, 2004, p.1-172.
5. 佐藤 武, 加藤博之, 瀧健治 (監). こころの 1 1 0 番ー外来における対応のポイントー. 大阪：永井書店, 2002, p.1-243.
6. 武市昌士, 佐藤 武. ゼネラル・メンタルナーシングー症例で学ぶ精神看護ー. 東京：南江堂, 1992, p.1-220.
7. 武市昌士, 佐藤 武. イラストでみる精神科臨床実習. 東京：南山堂, 1991, p.1-198.

単訳および共訳：

8. 佐藤 武 (訳). 精神科卒後研修における臨床能力の定義・指導・評価. 東京：南江堂, 2005, p. 1-132. (Andrews LB, Burruss JM. Core Competencies for Psychiatric Education. Defining, Teaching, and Assessing Resident Competency. New York: American Psychiatric Press, 2004)
9. 武市昌士, 佐藤 武(訳). DSM-IVーPC プライマリ・ケアのための精神疾患の診断・統計マニュアル ICD-10 コード対応. 東京：医学書院, 1998, p.1-283. (American Psychiatric Association. Diagnostic and Statistical Manual of Mental Disorders, Fourth edition, Primary Care Version (DSM-IV-PC. Washington DC: American Psychiatric Press, Inc., 1996.)

分担著：

10. 佐藤 武. 嗜癮行動障害 5. インターネット依存 (携帯電話依存). 脳とこころのプライマリ・ケア (監修：日野原重明, 宮岡 等). 東京：(株) シナジー出版事業部, 2011, p.432-441.
11. 佐藤 武. V. うつ・不安と physical comorbidity 6. 呼吸器疾患. 脳とこころのプライマリ・ケア (監修：日野原重明, 宮岡 等). 東京：(株) シナジー出版事業部, 2010, p.310-316.
12. 佐藤 武, 保坂 隆. 2. 精神疾患に起因する身体症状・身体疾患. 精神疾患エクスペール 3 身体合併症の看護 (第 2 版). 東京：中山書店, 2009, p.21-37.
13. 佐藤 武. パニック障害. 日本家庭医療学会編. プライマリ・ケア救急. 東京：プリメド社, 2007, p.164-168.

14. 佐藤 武. 自律訓練法. 専門医をめざす人の精神医学 (第3版) (編集: 山内俊雄, 小島卓也, 倉知正佳, 鹿島晴雄). 東京: 医学書院, 2011, p. 693-694.
15. 佐藤 武. 第3節 メンタルヘルス等の対処に関する基礎的・基本的知識. 学生支援相談必携. 東京: 学生文化創造, 2007, p.167-183.
16. 佐藤 武. 精神保健・医療. 福井次矢 (編) 厚生労働省カリキュラムに則った研修医のための卒後臨床研修ハンドブック. 東京: 永井書店, 2007, p.589-594.
17. 佐藤 武. 第3章 精神神経系疾患. 福井次矢 (編) 厚生労働省カリキュラムに則った研修医のための卒後臨床研修ハンドブック. 東京: 永井書店, 2007, p.491-497.
18. 佐藤 武. 各科心身相関の連携に向けて. 日本女性心身医学会 (編) TEXT BOOK 女性心身医学. 東京: 永井書店, 2006, p.428-433.
19. 佐藤 武. 第3節 メンタルヘルス等に関する基礎的・基本的知識. スチューデント・コンサルタント認定試験・基礎研修講座. 東京: 学生文化創造, 2006, p.157-171.
20. 佐藤 武. 4章 トピックス 精神的健康度, 5章トピックス 「解決志向療法」, 9章 嗜癖行動 トピックス, 12章トピックス 「スクールカウンセリング」, 17章 トピックス 心の理論, 終章 トピックス 自己成長. 「精神保健の理論と実際 小林芳郎 (編)」。大阪: 保育出版社, 2004, p. 65, 92, 141, 172, 228, 253.
21. 保坂 隆, 佐藤 武, 岸 泰宏, 町田いづみ. 第1章 オリエンテーション. 保坂隆 (編) シリーズ 臨床研修医指導の手引き『精神科』. 東京: 診断と治療社, 2004, p.1-20.
22. 佐藤 武. 第2章 研修で学ぶべき技能保坂隆 (編) E. 精神保健福祉法. シリーズ 臨床研修医指導の手引き『精神科篇』. 東京: 診断と治療社, 2004, p.44-50.
23. 佐藤 武, 岸 泰宏, 町田いづみ. 第3章 研修で学ぶべき知識. 保坂隆 (編) シリーズ 臨床研修医指導の手引き『精神科』. 東京: 診断と治療社, 2004, p.51-158.
24. 佐藤 武. 第V章 研修医の評価法. 保坂隆 (編) シリーズ 臨床研修医指導の手引き『精神科』 (編集: 保坂隆). 東京: 診断と治療社, 2004, p.167-175.
25. 保坂 隆, 佐藤 武. 精神疾患患者にみる身体合併症. 精神疾患に起因する身体症状・身体状態. 精神看護エクスペール3 「身体合併症の看護」. 東京: 中山書店, 2004, p. 23-38.
26. 佐藤 武. はじめに. 佐藤 武, 保坂 隆, 岸 泰宏, 町田いづみ (編) 研修医・指導医のための精神科卒後研修ガイドブック-4SADs-. 東京: 南江堂, 2003, p.iv-vii.
27. 保坂 隆, 佐藤 武. I章 卒後研修プログラムのオリエンテーション. 佐藤 武, 保坂 隆, 岸 泰宏, 町田いづみ (編) 研修医・指導医のための精神科卒後研修ガイドブック-4SADs-. 東京: 南江堂, 2003, p.1-5.
28. 佐藤 武. IV章 4SADs: 4SADs とは, somatoform disorders, Anxiety, Depression, Dementia. 佐藤 武, 保坂 隆, 岸 泰宏, 町田いづみ (編) 研修医・指導医のた

- めの精神科卒後研修ガイドブック-4SADs-. 東京: 南江堂, 2003, p.49, p.68-76, p.86-94, p.122-130, p.140-148.
29. 佐藤 武. VI章 精神医学と法律. 佐藤 武, 保坂 隆, 岸 泰宏, 町田いづみ (編) 研修医・指導医のための精神科卒後研修ガイドブック-4SADs-. 東京: 南江堂, 2003, p.167-172.
 30. 佐藤 武. 卒後研修を終えて「研修医」のためのチェック. 佐藤 武, 保坂 隆, 岸 泰宏, 町田いづみ (編) 研修医・指導医のための精神科卒後研修ガイドブック-4SADs-. 東京: 南江堂, 2003, p.173-174.
 31. 佐藤 武. サイコオンコロジーにおける東洋医学的知識. 保坂 隆 (編) 現在のエスプリ 426 サイコオンコロジー. 東京: 至文堂, 2003, p.168-177.
 32. 佐藤 武. ②リエゾン精神医学 b. 精神科医による. 久保千春, 中井吉英, 野添新一 (編) 現代心療内科学. 東京: 永井書店, 2003, p.590-596.
 33. 佐藤 武, 中井吉英. リエゾン精神科医との対話. 久保千春, 中井吉英, 野添新一 (編) 現代心療内科学. 東京: 永井書店, 2003, p.607-620.
 34. 佐藤 武, 保坂 隆. III. 各科の心身医療の現状と将来 久保千春, 中井吉英, 野添新一 (編) 1. 精神科. 現代心療内科学. 東京: 永井書店, 2003, p.32-40.
 35. 佐藤 武. 施設入所と介護家族. 渡辺俊之 (編) 現代のエスプリ 介護家族という新しい家族. 東京: 至文堂, 2003, p.97-104.
 36. 佐藤 武. 医師・患者・家族関係, 医師・患者関係, 患者心理, 心理社会学的方法, 精神心理学的面接, 精神的ケア, 治療的人間関係, 適応制御. 東京: 医学大辞典, 医学書院, 2003, p.100, p.460, p.1294, p.1359, p.1360, p.1664, p.1702.
 37. 佐藤 武. 精神療法と認知行動療法. リエゾン精神医学とその治療, 山脇成人, 保坂隆, 内富庸介, 堀川直史, 一瀬邦弘 (編). 東京: 中山書店, 2003, p.293-300.
 38. 佐藤 武. 夫婦・家族療法. 山脇成人, 保坂隆, 内富庸介, 堀川直史, 一瀬邦弘 (編) リエゾン精神医学とその治療. 東京: 中山書店, 2003, p.314-320.
 39. 佐藤 武. 他科医とのコミュニケーション. 山脇成人, 保坂隆, 内富庸介, 堀川直史, 一瀬邦弘 (編) リエゾン精神医学とその治療. 東京: 中山書店, 2003, p. 301-307.
 40. 佐藤 武. 本田さんとお会いして. 森久美子 (著) 汗かきべそかき恥かき介護体験記, 森久美子. 佐賀: 佐賀新聞社 2002, p.5-7.
 41. 佐藤 武. 第6章 通院上の問題点. 統合失調症がよくわかる本, 福西勇夫 (編). 東京: 法研, 2002, p.129-144.
 42. 佐藤 武. 第7章 入院上の問題点. 統合失調症がよくわかる本, 福西勇夫 (編). 東京: 法研, 2002, p.145-166.
 43. 佐藤 武. 第1章 総合病院の精神科・神経科のご案内. 総合病院精神科・神経科ガイドプロジェクトチーム(編) 日本総合病院精神医学会ガイド. 東京: 星和書店, 2002, p.1-22.

44. 佐藤 武, 岸泰宏, 保坂隆. 在院日数短縮化をめざして＜QOL 向上のために＞ 1. 身体疾患患者のうつ病合併率. 東京: 星和書店, 2002, p.1-12.
45. 佐藤 武, 岸泰宏, 保坂隆. 在院日数短縮化をめざして＜QOL 向上のために＞ 1. 身体疾患患者のせん妄合併率. 東京: 星和書店, 2002, p.24-31.
46. 佐藤 武, 岸泰宏, 保坂隆. 在院日数短縮化をめざして＜QOL 向上のために＞ 2. リエゾン精神医学の経済効率. 東京: 星和書店, 2002, p.46-65.
47. 佐藤 武. III. 精神症状のアセスメントとアプローチ. 保坂 隆 (編) 1. 段階的評価. 全科に役立つメンタル・ナーシング. 学研 Nursing Mook 11. 2002, p. 40-42.
48. 佐藤 武. III. 精神症状のアセスメントとアプローチ. 保坂 隆 (編) 2. 精神症状の評価. 全科に役立つメンタル・ナーシング. 学研 Nursing Mook 11. 2002, p. 43-57.
49. 佐藤 武, 町田いづみ. III. 精神症状のアセスメントとアプローチ. 保坂 隆 (編) 3. 精神状態像の評価. 全科に役立つメンタル・ナーシング. 学研 Nursing Mook 11. 2002, p. 58-69.
50. 佐藤 武. III. 精神症状のアセスメントとアプローチ. 保坂 隆 (編) 4. 精神疾患の診断. 全科に役立つメンタル・ナーシング. 学研 Nursing Mook 11. 2002, p. 70-88.
51. 保坂 隆, 佐藤 武. 身体疾患患者のうつ病合併率. 保坂 隆 (編) 臨床看護セクション「一般病棟におけるうつ状態患者の理解とその対処法」. 東京: へるす出版, 2002, p.3-12.
52. 佐藤 武. うつ病患者とのコミュニケーションの基本. 保坂 隆 (編) 臨床看護セクション「一般病棟におけるうつ状態患者の理解とその対処法」. 東京: へるす出版, 2002, p.58-63.
53. 佐藤 武. うつ病の危険因子 (病前性格を含む). 保坂 隆 (編) 臨床看護セクション「一般病棟におけるうつ状態患者の理解とその対処法」 (編集: 保坂 隆). 東京: へるす出版, 2002, p.13-16.
54. 佐藤 武. 複雑系における精神医学ーカオス理論からみた思考障害の発生メカニズムー. 小椋 力 (編) 精神障害の予防をめぐる最近のシンポ. 東京: 星和書店, 2002, p.168-169.
55. 佐藤 武. 身体化障害, 疼痛性障害, 心気症. 今日の治療指針. 東京: 医学書院, 2002, p.622.
56. 武市昌士, 佐藤 武. 19. 精神科的救急疾患について. 瀧 健治, 西村謙一, 十時忠秀 (編) 救急医学ー救急患者の初期対応と以後の治療方針ー. 東京: 新興医学出版社, 2002, p.188-192.
57. 佐藤 武. 第 60 章 認知行動療法. MGH「心の問題」診療ガイド. 兼子直, 福西勇夫, 佐藤 武, 小泉俊三 (監訳) 東京: Medical Science International, 2002, p.559-563. (Stern, T.A., Hernab, J.B., Slavin, P.L. (eds). The MGH Guide to Psychiatry in Primary Care. New York: McGraw-Hill, 1998.)

58. 佐藤 武. 第 61 章 特定の障害に対する認知行動療法による戦略. MGH「心の問題」診療ガイド. 兼子直, 福西勇夫, 佐藤 武, 小泉俊三 (監訳) Medical Science International, 東京, p.564-573, 2002. (Stern, T.A., Hernab, J.B., Slavin, P.L. (eds) The MGH Guide to Psychiatry in Primary Care. New York: McGraw-Hill, 1998.)
59. 佐藤 武. 第 73 章 DSM-IV-PC の利用法. MGH「心の問題」診療ガイド. 兼子直, 福西勇夫, 佐藤 武. 小泉俊三 (監訳), 東京: Medical Science International, 2002, p.652-657. (Stern, T.A., Hernab, J.B., Slavin, P.L. (eds) The MGH Guide to Psychiatry in Primary Care. New York: McGraw-Hill, New York, 1998.)
60. 佐藤 武. B. 精神・神経系の症状, 福井次矢 (編集) 2. うつ. 看護のための最新医学講座第 32 巻 医療面接から診断へ. 東京: 中山書店, 2002, p.119-124._
61. 佐藤 武, 山田健志 (訳). 緩和ケアにおける実存的精神療法. 内富庸介(編), 緩和医療における精神医学ハンドブック. 東京: 星和書店, 2001, p.209-228.
62. 佐藤 武. IV. 実践的ガイドラインー 各論 B. 身体表現性障害および疼痛障害, 野村総一郎, 保坂 隆(編) 総合病院精神医学マニュアル. 東京: 医学書院, 1999, p. 126-137.
63. 佐藤 武, 上村敬一. 第 14 章 機能的な身体症状と身体表現性障害, ネット・H・カセム(編), 黒澤 尚, 保坂 隆(監訳), 総合病院精神医学マニュアル. Medical Science International, 1999, p.279-305.
64. 上村敬一, 曾田千重, 佐藤 武. 第 16 章 疼痛患者, ネット・H・カセム(編), 黒澤 尚, 保坂 隆(監訳), 総合病院精神医学マニュアル. Medical Science International, 1999, p.335-374.
65. 佐藤 武, 武市昌士. II. 心身医学・精神医学総論ー心身医学と精神医学の基礎知識, 精神科への紹介の仕方. 和気裕之, 宮岡 等 (編) 歯科医のための心身医学・精神医学ー症例と基礎知識の整理ー. 東京: 日本歯科評論社, 1988, p.140-143.
66. 佐藤 武, 武市昌士. 第 1 章 一般病棟で遭遇する精神症状 9. 拒絶的な患者ー離院傾向を呈した重症心疾患をもつアルコール依存症患者を通じて. 風祭 元, 山脇成人 (編) 精神科ケースライブラリー コンサルテーション・リエゾン精神医療. 東京: 中山書店, 1988, p.91-100.
67. 佐藤 武, 武市昌士. IV. 治療の場における精神症状とその対応 A. プライマリー・ケア, 黒澤 尚, 山脇成人(編) 臨床精神医学講座 第 17 巻リエゾン精神医学・精神科救急医療. 東京: 中山書店, 1988, p.175-186.
68. 佐藤 武. 第 2 部 コンサルテーション・リエゾン精神医学の実践 第 5 章 産婦人科病棟 (3) 精神障害者のお産, 黒澤尚, 市橋秀夫, 皆川邦直(編) コンサルテーション・リエゾン精神医学. 東京: 星和書店, 1996, p. 244-246.
69. 佐藤 武. 2 章 症状群 (状態像) の診かたと対応. 武市昌士 (編) 不安, 入院患者のための精神的ケアー全人医療のために. 東京: 医学書院, p.39-49, 1990.

70. 佐藤 武. 2章 症状群（状態像）の診かたと対応, 武市昌士（編）VI. 幻覚妄想状態, 入院患者のための精神的ケア—全人医療のために. 東京: 医学書院, 1990, p. 91-101.
71. 佐藤 武. 2章 症状群（状態像）の診かたと対応, 武市昌士（編）V. 癌患者の心理的問題 入院患者のための精神的ケア—全人医療のために. 東京: 医学書院, 1990, p. 194-204.
72. 佐藤 武. 3章 臨床場面での諸問題. 武市昌士（編）VIII. 喘息, 入院患者のための精神的ケア—全人医療のために. 東京: 医学書院, 1990, p. 229-239.
73. 佐藤 武. 3章 臨床場面での諸問題, 武市昌士（編）X.問題患者, 入院患者のための精神的ケア—全人医療のために. 東京: 医学書院, 1990, p. 250-260.
74. 武市昌士, 佐藤 武. 1章 基本的事項, 武市昌士（編）入院患者のための精神的ケア—全人医療のために. 東京: 医学書院. 1990, p. 1-24.
75. 佐藤 武. 第2章 コンサルテーション・リエゾン精神医学の实践と問題点 2.6 老人病棟, コンサルテーション・リエゾン精神医学の課題（岩崎徹也監修, 黒澤尚・保坂隆編集, 東京: 東海大学出版社, 1989, p. 62-69.
76. 武市昌士, 佐藤 武. I. 精神医学からみたプライマリ・ケアの意義, 武市昌士（編）プライマリ・ケアにおける精神医学—初期対応とその実際. 東京: 南山堂, 1988, p.1-10.
77. 武市昌士, 佐藤 武. II. プライマリ・ケアにおける POS, 武市昌士（編）プライマリ・ケアにおける精神医学—初期対応とその実際. 東京: 南山堂, 1988, p. 11-34.
78. 武市昌士, 佐藤 武. III. 主訴または精神症状のみかた・とらえかた, 武市昌士（編）プライマリ・ケアにおける精神医学—初期対応とその実際. 東京: 南山堂, 1988, p. 35-51.
79. 武市昌士, 佐藤 武. IV. 精神科治療のガイドライン, 武市昌士（編）プライマリ・ケアにおける精神医学—初期対応とその実際. 東京: 南山堂, 1988, p. 53-70.
80. 武市昌士, 佐藤 武. VI. 用語解説, 武市昌士（編）プライマリ・ケアにおける精神医学—初期対応とその実際. 東京: 南山堂, 1988, p. 339-366.
81. 佐藤 武. V. 主訴または症状別によるアセスメントと診断・治療計画 6. 奇異な訴え（話の筋道が乱れている）, 武市昌士（編）プライマリ・ケアにおける精神医学—初期対応とその実際. 東京: 南山堂, 1988, p. 118-128.
82. 佐藤 武. V. 主訴または症状別によるアセスメントと診断・治療計画 19. 慢性疾患があり, 生活に支障がある, 武市昌士（編）プライマリ・ケアにおける精神医学—初期対応とその実際. 東京: 南山堂, 1988, p.255-263.
83. 佐藤 武. V. 主訴または症状別によるアセスメントと診断・治療計画 22. ひきこもり（自閉）, 武市昌士（編）プライマリ・ケアにおける精神医学—初期対応とその実際.東京: 南山堂, 1988, p. 288-293.

〔総説論文〕

1. 佐藤 武. 「五月病を考える」成熟の観点から考える. 精神科 2011; 18(4):441-445.
2. 佐藤 武. 最近のうつ病の特徴とその対応. CAMPUS HEALTH 2011; 48(1): 65-67.
3. 佐藤 武. I. 最近の大学生の精神保健 最近の動向とトピック. 精神科 2010; 17(4):325-329.
4. 佐藤 武, 郭 偉, 伊藤奈々. 慢性疼痛とうつ病. 総合臨床 2010; 59 (5) : 1268-1272.
5. 佐藤 武. パーソナリティ障害～ナルシズム, こころの発達障害, こころアレルギーの関係～. CAMPUS HEALTH 2010; 47(2):60-65.
6. 岩本利恵, 佐藤 武: 自己超越性に関する文献検討. 総合病院精神医学 2008; 20:189-196.
7. 佐藤 武. 男性のうつと女性のうつ. ハートの海 2008; 30:2-3.
8. 佐藤 武. アルコール依存症 (中等症). 総合臨床 2008; 57 (増刊号) :653-655.
9. 永松美雪, 尾崎岩太, 武富弥栄子, 佐藤 武. 思春期の子どもをもつ親への HIV と性に関するプログラムの実態. 日本エイズ学会誌 2007; 9:158-166.
10. 佐藤 武. 「プライマリ・ケアにおけるうつ病の診断・治療」～身体症状を主訴とする軽症例を中心に～. クリニックマガジン 2006; 440:33-37.
11. 佐藤 武. 神経症圏障害の自律訓練法の原則. 特集／神経症圏障害のすべて. 臨床精神医学 2006; 36(6):739-743.
12. 佐藤 武. 自律訓練法. 特集／今日の精神科治療指針 2006, 臨床精神医学 35 (増刊) 2006:466-471.
13. 佐藤 武. 精神科卒後研修の評価法. 総合病院精神医学 2005; 17:194-200.
14. 佐藤 武. プライマリ・ケアでの心理面の配慮－メディカル・サイコセラピーの観点から－前編：生活習慣病と軽症精神障害のサイコセラピー. Primary Care Physicians 2005; 4(5):2-3.
15. 佐藤 武. プライマリ・ケアでの心理面の配慮－メディカル・サイコセラピーの観点から－ 後編：慢性疾患の医療者－患者関係を築く 13 のキーワード. Primary Care Physicians 2005; 4(6):8-9.
16. 佐藤 武, 木道圭子. 慢性閉塞性肺疾患・その他の呼吸器疾患. 精神科治療学 19 (増刊号) 2004; 210-213.
17. 佐藤 武. 内科疾患とうつ病. 日本内科学会雑誌 2004; 93:186-191.
18. 佐藤 武. 精神症状が身体疾患の転帰に与える影響に関するエビデンス. EBM ジャーナル. 2004; 5(9):66-69.
19. 佐藤 武. [総論] せん妄・妄想・幻覚の見分け方. JIM 2004; 14(10):833-837.

20. 津田 司, 佐藤 武. 聖路加／ハーバードメディカルインターナショナルプライマリケアセミナー・討論会. メディカル朝日(1月号), 2004, p.8.
21. 佐藤 武, 木道圭子. 慢性疼痛患者に対する PSYCHOTHERAPY. 慢性疼痛 2003; 22:25-31.
22. 佐藤 武, 木道圭子. 4. どうき患者対応に必要な基礎知識, 心療内科・精神科(編). カレントセラピー. 2003; 21(8):18-21.
23. 佐藤 武. 身体表現性障害 (Somatoform disorders). 診断と治療 2003; 91(8):1347-1351.
24. 佐藤 武, 中嶋義文. 「第1回臨床研修指導医養成コース」に参加して. 総合病院精神医学. 2003; 15:202-203.
25. 佐藤 武. 身体表現性疼痛障害. ペインクリニック 2003; 24:837-843.
26. 佐藤 武. 5) 外来患者や入院患者に潜むうつ病を見逃してはいけない! 治療増刊号 2003; 85:682-684.
27. 佐藤 武. 抗うつ薬2 (SSRI, SNRI, その他の抗うつ薬). 今月の治療 2003; 11(1):109-114.
28. 保坂隆, 小林孝文, 古茶大樹, 佐藤 武, 中嶋義文, 黒木宣夫, 黒澤尚. 精神科研修必修化における総合病院精神科の役割ー日本総合病院精神医学会の立場から. 精神医学 2003; 45:371-375.
29. 佐藤 武, 山田健志, 岸泰宏, 町田いづみ, 保坂隆. プライマリ・ケア医養成における精神科卒後研修カリキュラム. 総合病院精神医学 2003; 15:6-13.
30. 佐藤 武. 特集 軽症うつ病の治療を巡る controversy プライマリ・ケアを受診するうつ病. 臨床精神薬理. 2003; 6:175-180.
31. 佐藤 武, 山田健志. 転換性障害. 医学のあゆみ 2002; 200 (13):1204.
32. 山田健志, 佐藤 武. プライマリ・ケアにおける精神障害. 医学のあゆみ 2002; 200 (13):1240.
33. 佐藤 武. 精神疾患の患者さん・自殺企図をはかる患者さん2) 内科医で行える不定愁訴に対する薬物療法について教えてください. 治療増刊号 2002; 84:378-381.
34. 佐藤 武. うつ病患者とのコミュニケーション技術. 臨床看護 2001; 27:1222-6.
35. 佐藤 武, 山田健志, 保坂 隆. 非精神科医を対象とした精神科研修のあり方について. 総合病院精神医学 2001; 13:80-84.

36. Huyse FJ, 忽滑谷和孝, 高梨葉子, 館直彦, 佐藤 武, 岸 泰宏, 保坂 隆. コンサルテーション・リエゾン精神医学の現状, 将来の発展のためのモデル. 総合病院精神医学 2001; 13:1-7.
37. 保坂 隆, 佐藤 武. 身体疾患患者のうつ病合併率. 臨床看護 2001; 27:1167-1171.
38. 堀川直史, 佐藤 武, 保坂 隆. 座談会「身体疾患患者にみられる抑うつ」を見逃さないために. 今月の治療 2001; 9:1059-1074.
39. 佐藤 武. プライマリ・ケアにおけるうつ病. 今月の治療 2001; 9:1118-1120.
40. 堀川直史, 佐藤 武, 保坂 隆. 座談会「身体疾患患者にみられる抑うつ」を見逃さないために. 今月の治療 2001; 9:1059-1074.
41. 佐藤 武. Q&A うつ病はどんな病気はどう治療したらよいのでしょうか. 今月の治療. 2001; 9:1151-1155.
42. 佐藤 武, 山田健志, 小泉俊三: 精神保健の卒後教育と専門家との連携. JIM 2000; 10; 742-744.
43. 中井吉英, 小泉俊三, 佐藤 武. プライマリ・ケアと精神科の接点—心身医学領域の連携と発展のために. JIM 2000; 10: 785-792.
44. 佐藤 武. 第12回日本総合病院精神医学会総会に参加して. JPOS News Letter 2000; 20:4-5.
45. 佐藤 武, 山田健志. パニック・ディスオーダーとヒポコンドリー. 臨床成人病 2000; 30:1426-1429.
46. 佐藤 武, 北守 茂. 特集・今日の精神科治療 III. 精神療法 自律訓練法, 臨床精神医学 2000, p.247-250.
47. 佐藤 武. 第12回日本総合病院精神医学会総会に参加して. JPOS News Letter 2000; 20: 4-5.
48. 佐藤 武. 処方計画 2000 X I. 心身・精神疾患 209. ICU 症候群. 総合臨床 2000; 49:672-674.
49. 佐藤 武, 山田 健志, 藤林 武史. プライマリケアにおける精神的問題について—精神科の立場から—. 治療 2000; 82: 1678-1684.
50. 佐藤 武, 山田 健志. PCD に必要な診断に関する知識. 精神科医との連携, カレントセラピー 2000; 18(7), 18-22.
51. 佐藤 武, 武市昌士. プライマリ・ケアで対処できる精神疾患. メディカル朝日 1999; 28(5), 11-13.
52. 十時忠秀, 原野 清, 平田道彦, 佐藤 武. 14. 特殊な治療—ペインクリニック領域における—. ペインクリニック 1999; 20: S120-S124.

53. 武市昌士, 佐藤 武. 術後精神病について. 日本医事新報 1998; 3861: 109-110.
54. 佐藤 武. 身体疾患にみられる睡眠障害. 現代のエスプリ 1997; 357:134-1477.
55. 佐藤 武. 慢性疲労症候群. 毎日ライフ 1997; 2: 39-43.
56. 佐藤 武, 武市昌士. 痛みと心理・精神面の関係. 月刊ナーシング. 1997; 17(8): 68-72.
57. 小泉俊三, 佐藤 武. いわゆる「不定愁訴」を精神科領域からみる. ソムニ 1996; 4: 2-5.
58. 武市昌士, 佐藤 武. ドクター・ショッピング. Scope 1996; 35(9): 12-13.
59. 武市昌士, 佐藤 武. 総合外来で診る精神障害患者. Scope 1996; 35(8): 10-11.
60. 武市昌士, 佐藤 武. 構造化面接 (Diagnostic Interview Schedule, DIS) のパーソナルコンピュータ化. Scope 1996; 35(10): 18-19.
61. 佐藤 武, 武市昌士. プライマリ・ケアにおける精神医学. 総合病院精神医学 1996; 8:62-70.
62. 佐藤 武. 痴呆状態における精神症状. 月刊ナーシング 1996; 16: 94-97.
63. 佐藤 武, 武市昌士. 慢性疼痛における心理的問題. 現代のエスプリ. 1996; 343: 142-150.
64. 佐藤 武, 武市昌士. 不安を解消するための病院めぐりドクターショッピング, 現代のエスプリ 1996; 346:106-116.
65. 魏 家鳳, 何 頌躍, 孔江聯, 佐藤 武, 武市昌士, 金関 毅. 中国江西医科大学と佐賀医科大学の卒前医学教育に関する比較研究—江西医科大学の中西医结合医学教育の現状—. 医学教育 1996; 27:115-120.
66. 医学—総合外来精神医学の推進のために—. 九州神経精神医学 1995; 41:159-166.
67. 武市昌士, 佐藤 武. 総合外来精神医学における検討課題 IV. 民間療法をめぐる今日的な問題点. 九州神経精神医学 1995; 41:92-98.
68. 武市昌士, 佐藤 武. 総合外来精神医学における検討課題 III. 軽症精神障害と漢方医学—総合外来精神医学の推進のために—. 九州神経精神医学 1995; 41: 159-166.
69. 佐藤 武. 大地震に関連する精神科領域の報告. 総合病院精神医学 1995; 7: 127-128.
70. 佐藤 武, 武市昌士, 十時忠秀. 慢性疼痛患者とドクターショッピング. LISA 1995; 2(6): 87-89.
71. 佐藤 武, 武市昌士. 不定愁訴と精神疾患. 治療 1995; 77: 2179-2184.
72. 武市昌士, 佐藤 武. プライマリ・ケアにおける精神医学. 日本医事新報 1995; 3726:24-30.

73. 武市昌士, 佐藤 武. 総合外来精神医学における検討課題 V. 慢性疲労症候群 vs うつ病. 九州神経精神医学 1995; 41: 167-173.
74. 武市昌士, 佐藤 武. 総合外来精神医学における検討課題 VI. 構造化面接とその問題点—DIS から DISSI へ—. 九州神経精神医学 1995; 41:276-283.
75. 佐藤 武, 武市昌士, 原富英, 高崎光浩, 十時忠秀. 眼球運動のフラクタル次元解析に関する研究 (予報). 精神分裂病研究の進歩. 1995; 5:120-121.
76. 佐藤 武, 武市昌士. 総合外来精神医学における検討課題 I. プライマリ・ケアにおける精神障害の疫学研究とその展望 (その2). 九州神経精神医学 1994; 40: 183-198.
77. 佐藤 武, 武市昌士. 慢性疼痛. 医薬ジャーナル 1994; 30:3101-3105.
78. 佐藤 武, 武市昌士. 舌証のコンピュータ診断による精神分裂病の東洋医学的研究—1. 方法論, 精神分裂病の進歩 1994; 4(2): 80.
79. 佐藤 武, 武市昌士. 総合外来精神医学における検討課題 I. プライマリ・ケアにおける精神障害の疫学研究とその展望 (その1). 九州神経精神医学 1994; 40:16-28.
80. 何 頌躍, 佐藤 武, 武市昌士. 総合外来精神医学の検討課題 II. 中医学 (中国伝統医学) とその過去と現在. 九州神経精神医学 1994; 40: 159-172.
81. 何 頌躍, 佐藤 武, 武市昌士. 中国における医学教育の現状. 医学教育 1994; 25: 240-245.
82. 武市昌士, 佐藤 武. プライマリ・ケアと総合外来精神医学の提唱. 九州神経精神医学 1993; 39:351-362.
83. 佐藤 武, 武市昌士. 精神分裂病の漢方医学による弁証分類. 精神分裂病研究の進歩 1993; 3:101.
84. 佐藤 武, 武市昌士. 精神分裂病の漢方治療経験—柴朴湯使用の3症例. 精神分裂病研究の進歩 1993; 4: 100-101.
85. 武市昌士, 佐藤 武. 一般科入院・外来における急性抑うつ不安状態への薬物療法の現況と問題点. 神経精神薬理 1992; 14, 95-101.
86. 佐藤 武. うつ状態 Depressive State. JIM 1992; 2: 104-105.
87. 武市昌士, 佐藤 武. 総合診療科における精神科医の役割, とくにプライマリ・ケアを担う総合外来での精神科医の役割. 医学のあゆみ 1992; 161:933.
88. 佐藤 武. 不安神経症 Anxiety Neurosis. JIM 1992; 2: 705-707.
84. 武市昌士, 佐藤 武. 癌とストレス. 教育と医学. 1992; 40: 68-73.

85. 武市昌士, 佐藤 武. 精神分裂病の臨床精神医学的研究, IV. 民間療法関与の調査. 精神分裂病研究の進歩 1991; 2: 228.
86. 崎畑広昭, 佐藤 武, 武市昌士. 精神分裂病の臨床精神医学的研究 I. 中・長期入院破瓜型患者の予後決定因に関する統計学的研. 精神分裂病研究の進歩 1991; 2: 227.
87. 武市昌士, 佐藤 武, 崎畑広昭, 盛山増澄克. 精神分裂病の臨床精神医学的研究 II. 入院経路別に見た比較調査. 精神分裂病研究の進歩 1991; 2: 227.
88. 崎畑広昭, 佐藤 武, 武市昌士. 精神分裂病の臨床精神医学的研究 III.慢性難治性症例に対する炭酸リチウムの効果. 精神分裂病研究の進歩 1991; 2: 227-228.
89. 武市昌士, 佐藤 武. I. 地域医療からみたプライマリ・ケア医学の意義, 武市昌士 (編) プライマリ・ケア精神医学. 東京: 南山堂, 1992, p.1-13.
90. 武市昌士, 佐藤 武. II. プライマリ・ケアにおける精神障害のスクリーニング法, 武市昌士 (編) プライマリ・ケア精神医学. 東京: 南山堂, 1992, p.15-22.
91. 武市昌士, 佐藤 武. III. プライマリ・ケアにおける精神障害の実態に関する一調査, 武市昌士 (編) プライマリ・ケア精神医学. 東京: 南山堂, 1992, p. 23-45.
92. 佐藤 武. VII. P O S による問題リストの問題と初期計画 7. 独りよがりの考えや変なものが聞える, 見える (幻覚妄想状態), 武市昌士 (編) プライマリ・ケア精神医学. 東京: 南山堂, 1992, p.169-177.
93. 武市昌士, 佐藤 武. コンサルテーション・リエゾン精神医学のあゆみの中での諸問題. 精神科治療学 1990; 5: 497-504.
94. 武市昌士, 佐藤 武. 警告うつ病と悪性腫瘍の診断上の問題点. 医学のあゆみ 1989; 150: 477.
95. 武市昌士, 佐藤 武. 精神科入院患者のもつ身体疾患・その発生頻度と対応をめぐって. 医学のあゆみ 1988; 151: 599.
96. 武市昌士, 佐藤 武. 患者のコンサルテーション・リエゾン精神医学. 九州神経精神医学 1989; 35: 203-219.
97. 武市昌士, 佐藤 武. 内科領域における抗不安薬の投与. 医学のあゆみ 1988; 147, 899.

〔書評・その他〕

1. 佐藤 武, 中村志織: 書評「野島一彦 (編) 公認心理師の職責、東京: 遠見書房、2018 年」こころの健康 33(1):53-55, 2018.
2. 佐藤 武. 一般演題Ⅱ①「QOL」を終えて. JPOS Newsletter 2004; 38:5.

3. 佐藤 武. 第 15 回日本総合病院精神医学会印象記. JPOS Newsletter 2003, p.34.
4. 佐藤 武. 第 16 回日本サイコオンコロジー学会 一般演題Ⅲを終えて. JPOS Newsletter 2003, p.34.
5. 佐藤 武. 「第 1 2 回世界精神医学会横浜大会に参加してーコンサルテーション・リエゾン精神医学を中心としてー」. JPOS News Letter 2002; 31:8.
6. 佐藤 武. 書評「保坂 隆著：がんところ. テンタクル, 2001」総合病院医学 2002; 10:423.
7. 佐藤 武. サイコオンコロジーにおける INTERMED の適用. JPOS News Letter 2002; 29:5.
8. 保坂 隆, 佐藤 武. 学会の印象「第 9 7 回日本精神神経学会」. 精神療法. 2001; 27(5):559.
9. 佐藤 武. 書評: 町田いずみ, 保坂 隆(著), 医療コミュニケーション入門. 東京: 星和書店, 2001, p.12:75.
10. 佐藤 武. 常任世話人のご挨拶. JPOS News Letter 2001; 26:4.
11. 佐藤 武. First Annual Scientific Meeting of European Association for Consultation-Liaison Psychiatry and Psychosomatics (EACLPP) に参加して. 総合病院精神医学 2001; 13:201-202.
12. 佐藤 武. Royal Marsden Hospital 訪問・EACLPP に参加して. JPOS News Letter 2001; 27:11.
13. 佐藤 武. パネルディスカッション 4 「リエゾン」を終えて. JPOS News Letter 2000; 22: 8.
14. 佐藤 武: 書評「スポーツ精神医学」. 総合病院精神医学 2009; 21:385.
15. 吉住 昭, 瀬戸秀文, 松島道人, 佐藤 武, 松永昌宏, 上村敬一, 中根秀文, 藤林武史. Psychiatric Service 掲載論文紹介第 14 回. 病院・地域精神医学 1999; 42: 114ー117.
16. 吉住 昭, 瀬戸秀文, 松島道人, 佐藤 武, 松永昌宏, 上村敬一, 中根秀文, 藤林武史. Psychiatric Service 掲載論文紹介第 15 回. 病院・地域精神医学 1999; 42: 215ー218.
17. 佐藤 武. 書評「Energy Psychology-Explorations at the interface of energy, cognition, behavior, and health-」Fred P. Gallo (著). 総合病院精神医学.1999; 11: 196.
18. 佐藤 武. 書評,先端医学とリエゾン精神医学.松下正明(監),福西勇夫(編), 総合病院精神医学. 東京: 金原出版, 1999; 11: 197.
19. 佐藤 武. 書評「リエゾン一般医のための精神医学」. 診断と治療 1999; 87:238.

20. 佐藤 武. Psycho-oncology における Illness Behavior の重要性. JPOS News Letter 1988; 14: 10.
21. 吉住昭, 瀬戸秀文, 松島道人, 佐藤 武, 松永昌宏, 上村敬一, 藤林武史. Psychiatric Service 掲載論文紹介第 11 回. 病院・地域精神医学 1997; 41: 329-332.
22. 佐藤 武. 書評「リハビリテーション医療心理学キーワード」(才藤栄一, 渡辺俊之, 保坂 隆編). 総合病院精神医学 1996; 8: 82.
23. 吉住昭, 瀬戸秀文, 松島道人, 佐藤 武, 松永昌宏, 上村敬一, 藤林武史. Psychiatric Service, 掲載論文紹介第 7 回. 病院・地域精神医学 1996; 40: 164-171.

(学術講演)

1. Sato T. (invited lecture) Psychological Allergy. 世界中医薬学会連合会 : 2013 年神志病学術年会・専科講座. Aug 23-26, 2013. (held in Harbin, China, in Chinese)
2. Sato T. (invited lecture) The effect of aerobic exercise on physical and mental health. 元培科学技術大學. Nov 4, 2010. (held in Tiwan, in English)
3. Sato T. (invited lecture) How to recover from depression without antidepressant. 台北医科大学. Nov 4, 2010. (held in Taiwan, in English)
4. Sato T., Guo Wei, Itoh N, Iwamoto R. Short-term effects of aerobic exercise program on depressive symptoms among Japanese healthy subjects. The 14th Pacific Rim College of Psychiatrists Scientific Meeting. Oct 28-30, 2010. (Brisbane in Australia)
5. Guo W, Piao LH, Itoh N, Sato T. Preventive Effects of Metabolic Syndrome by Aerobics Exercise. The 5th International Conference of Information. Nov 6-9, 2009. (in Kyoto, Japan)
6. 佐藤 武. 日本抑郁症の現状と存在問題. 中国長春中医薬大学附属医院. April 30, 2009. (長春, 中国吉林省) (held in China, in Chinese)
7. Sato T. Some differences of interpersonal relations between Westerners, Chinese, Koreans and Japanese from my experiences. Wellington School of Medicine & Health Sciences, Wellington School of Medicine, University of Otago, New Zealand, Oct 10, 2007. (held in New Zealand)
8. Sato T. An Internet-based Evaluation System for a Psychiatry Residency Program. 12nd Scientific Meeting of the Pacific Rim College of Psychiatrists. Oct 5-7, 2006. (held in Taipei)

9. Sato T, Takefu M: (symposium) Relationship between emotion and respiration using fractal dimension and psychometric testing: The perspective from contemporary and traditional Chinese medicine. The 3rd International Conference of Information. Nov 29- Dec 2, 2004. (held in Tokyo, Japan)
10. Kido K, Sato T. Brugada type electrocardiographic change in young healthy population: its prevalence and time course. The 67th Annual Scientific Meeting of the Japanese Circulation Society. March 28-30, 2003. (held in Fukuoka, Japan)
11. Sato T, Kishi Y, Machida I, Hosaka T. (symposium) Strategies to promote education in psychiatry for every rotating resident: The views of the Japanese Society of Family Physicians and General Hospital Psychiatry. The 40th Academy of Psychosomatic Medicine, November 21-24, 2002. (held in Tucson, Arizona, USA)
12. Sato T, Aoki T, Hosaka T. (symposium) Role of CL psychiatry and INTERMED toward shortening of length of stay. XII World Congress of Psychiatry. Aug 24-29, 2002. (held in Yokohama, Japan)
13. Hosaka T, Sato T. A group intervention for Japanese breast cancer patients. Annual Scientific Meeting of EACLP. Sep 20-22, 2001. (Leiden in Netherlands)
14. Sato T. A riddle on the tongue color – What is the color of Chi? The 11th International Congress of Oriental Medicine. Sep 11-13, 2001. (Soul in Korea)(in English)
15. Sato T, Jiang N, Hosaka T, Totoki T. Illness behaviour: a comparison of chronic pain patients in pain clinics and somatoform disorder patients in a psychiatric clinic. Annual Scientific Meeting of EACLPP. Sep 20-22, 2001. (Leiden in Netherlands)
16. Sato T. Psychiatry in complex systems – The mechanism for thought disorder from the chaos theory. First Japan International Conference on Early Intervention and Prevention in Psychiatric Disorders. June 22-23, 2001.(held in Okinawa)
17. Sato T. (workshop) Illness behavior associated with somatoform disorders referred from primary care physicians. 11th World Congress of Psychiatry. Aug 25-26, 1999. (held in Germany)
18. Takeichi M, Sato T. Studies on the relationship between emotion, respiration, and illness: The development of a computerized emotion-respiration autoanalyzer, and its clinical application. 11th World Congress of Psychiatry. Aug 25-26, 1999. (held in Germany)

19. Takeichi M, Sato T. Exploitation of oriental psychosomatic medicine in psychiatric consultation-liaison service- Proposal of anxiety-affinity constitution and its diagnosis and treatment. The 13th Tokyo Institute of Psychiatry International Symposium. Sep 29-30, 1998.
20. Hosaka T, Sato T. (symposium) Approaches to the treatment of somatoform disorder in different settings: Liaison psychiatry. Keio University International Symposium 1998 Rethinking Somatoform Disorders. Feb 25, 1998.
21. Sato T, Takeichi M. (symposium) Can psychiatry talk to medicine? General Hospital Psychiatry in the 21st. Century. Psychiatric consultation in primary care setting in Japan: Direction for future research. 10th World Congress of Psychiatry. Aug, 1996 (held in Spain)
22. Hara T, Sato T, Takeichi M. Quantitative analysis of eye movements in senile dementia of Alzheimer type: An application of fractal dimension. The 7th Scientific Meeting of the Pacific Rim College of Psychiatrists. Oct 24, 1995.
23. Sato T, Hara T, Takeichi M. Quantitative analysis of two-dimensional eye movements with closed eyes: An application of fractal dimension. The 7th Scientific Meeting of the Pacific Rim College of Psychiatrists. Oct 24, 1995.
24. Takeichi M, Sato T. Development and validity of Japanese version of Diagnostic Interview Schedule Screening Interview (DISSI) toward diagnosing medical students and psychiatric inpatients. The 7th Scientific Meeting of the Pacific Rim College of Psychiatrists. Oct 24, 1995.

(特 許)

武市昌士, 佐藤 武, 竹生政資. 特性不安レベル評価装置及びその方法. 公開特許公報 (A) (特開 2 0 0 1 - 2 9 9 7 0 2 (P 2 0 0 1 - 2 9 9 7 0 2 A)), 日本国特許庁 (J P), 平成 1 3 年 1 0 月 3 0 日 (2 0 0 1 . 1 0 . 3 0).
(<http://www.patentjp.com/13/D/D102258/DA10001.html>)

(受賞歴)

2002 年 10 月 20 日 臨床精神薬理誌〔新規向精神薬による治療〕優秀論文授賞
(milnacipran に関する共同研究)

2003 年 3 月 1 日 第 11 回日本総合診療医学会・日野原賞（うつ病に関する共同研究）

2011 年度「財団法人博慈会老人病研究所平成 23 年度奨励論文」受賞

2017 年 12 月 16 日 第 2 回 佐賀さいこう表彰（協働部門）（佐賀県）

2018 年 11 月 26 日 公益財団法人 社会貢献支援財団賞（東京、帝国ホテル）

（学会開催）

- 1 佐藤 武（当番大学）：平成 17 年度九州地区大学メンタルヘルス研究協議会．佐賀大学（主催：独立行政法人日本学生支援機構，協力：文部科学省），グランデはがくれ，平成 17 年 10 月 17 日～18.
- 2 佐藤 武（協力大学）：平成 20 年度（第 30 回）学生支援合同フォーラム 全国大学メンタルヘルス研究会（主催：独立行政法人日本学生支援機構，協力：文部科学省），東京国際交流館プラザ平成，平成 21 年 1 月 20 日～21 日，
- 3 佐藤 武（当番大学）：平成 22 年度（第 40 回）九州地区大学保健管理研究協議会（主催：全国大学保健管理協会九州地方部会），グランデはがくれ，平成 22 年 8 月 18 日～20 日
- 4 佐藤 武（大会長）：第 27 回日本精神衛生学会大会，佐賀大学医学部，佐賀，平成 23 年 12 月 9 日～11 日.
- 5 佐藤 武（当番大学）平成 29 年度 一般社団法人国立大学保健管理施設協議会総会（当番校 佐賀大学）、沖縄県市町村自治会館、平成 29 年 12 月 1 日